ユウキHB
[YUUKI HB]
乗馬女子に騎乗られたい？！
JYOUBAJYOSHINI NORARETAI!
煩悶トワイライト編
成年コミック
owupai

CONTENTS

目次

第1話 …… 003

第2話 …… 027

第3話 …… 053

第4話 …… 079

第5話 …… 105

第6話 …… 131

描き下ろし …… 155

乗馬女子に騎乗されたい！

煩悶トワイライト編

IKOUBAJYOSHINI NORARETAI!

前作までのあらすじ

訪れた2人が恋人になる率100%の遊園地こと、ディスティニーアイランドを訪れた乗馬部一行。パレード中の象の背で騎乗位をしてみたり、マスコットキャラの着ぐるみ内で密着エッチしたりとまさにヤリすぎな遊園地観光を満喫していた。天王寺へのあてつけから海凪を抱いた最島は、このテーマパークにはある伝説が存在すると聞き…

IYOUBAIYOSHINI NORARETAI!

CHARACTERS

キャラクター紹介

最島 裕也（さいじま ゆうや）

本作の主人公。
馬用興奮剤を女の子に使用し、
ハーレムライフを満喫中。

天王寺 亜子（てんのうじ あこ）

乗馬部部長。部内では
王子様キャラだが根は乙女。
最島に対しては素直に
なれないお年頃。

海凪 都（みなぎ みやこ）

亜子に憧れる乗馬部の
後輩女子。最島に
馬用興奮剤でオトされた
最初の犠牲者でもある。

橘 凛久（たちばな りく）

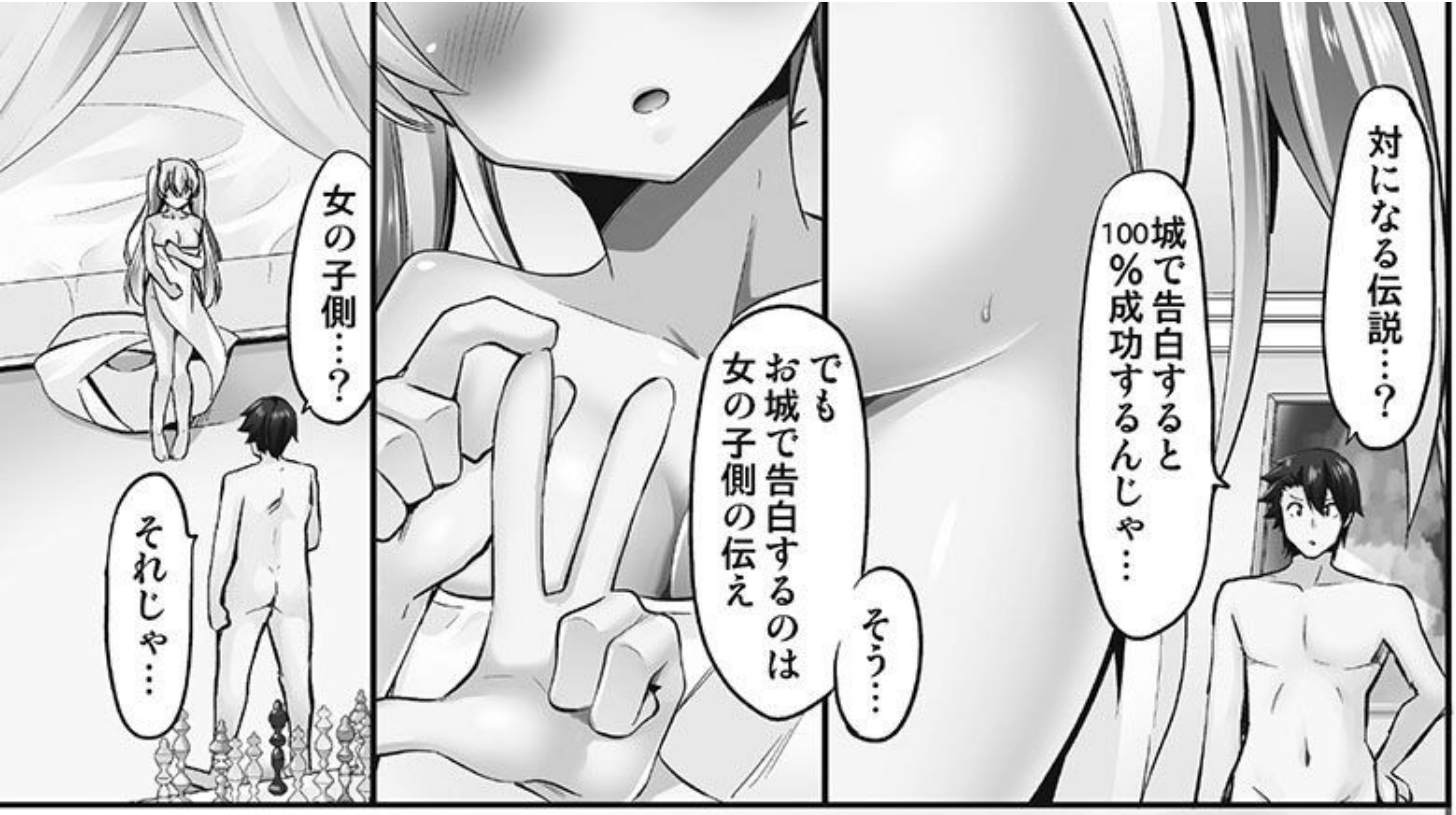
亜子のストーカーにして、
橘流忍術十四代目当主。
神出鬼没。

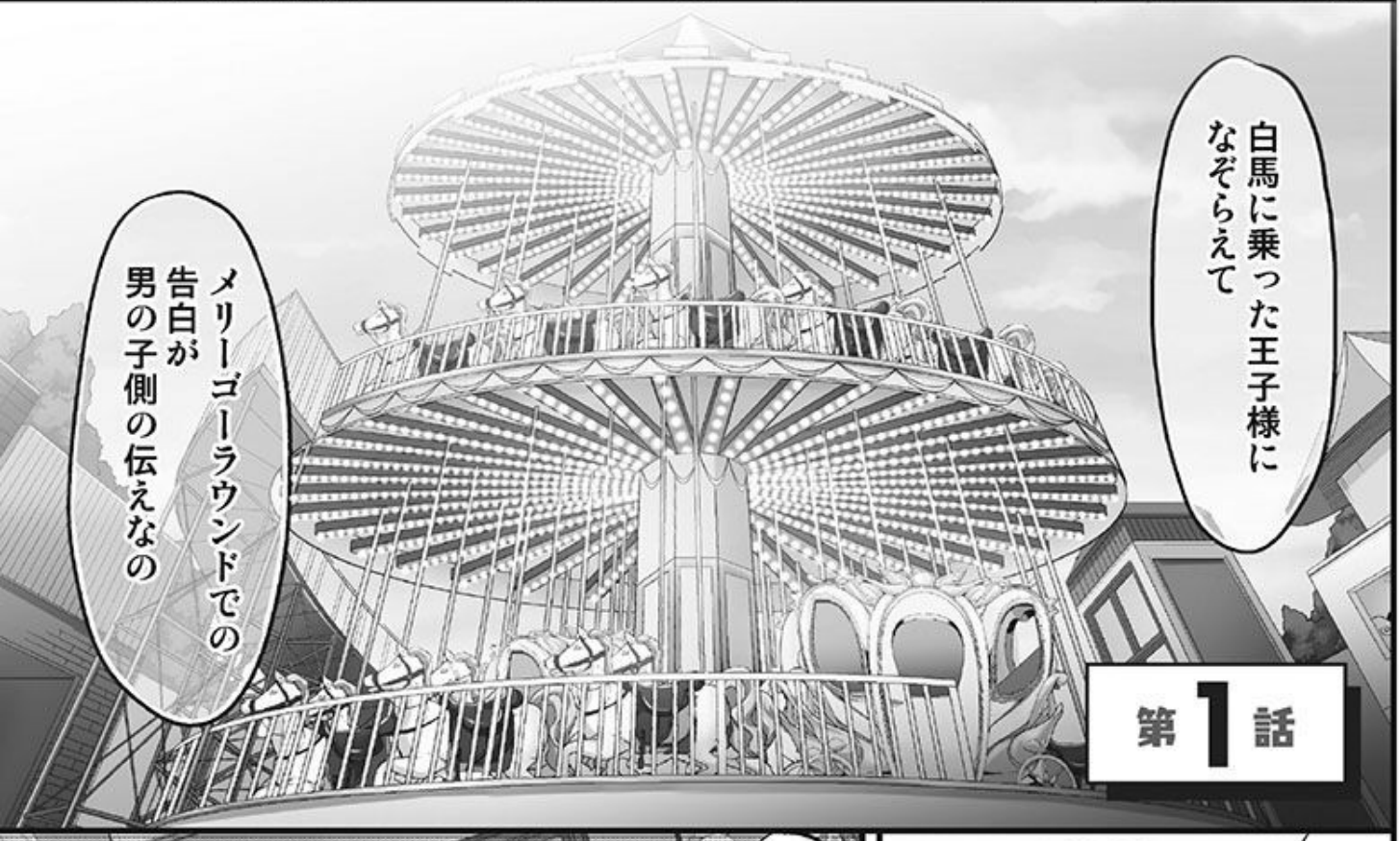
ラクシュミー寧羽（ねは）

亜子と最島の仲を裂こうと
した生徒会長。機略に富んだ
ミステリアス美女。

峯岸 のぞみ（みねぎし）

乗馬部顧問の女教師。
欲求不満なお年頃。


対になる伝説…？
城で告白すると100％成功するんじゃ…
そう…
でもお城で告白するのは女の子側の伝え
女の子側…？
それじゃ…

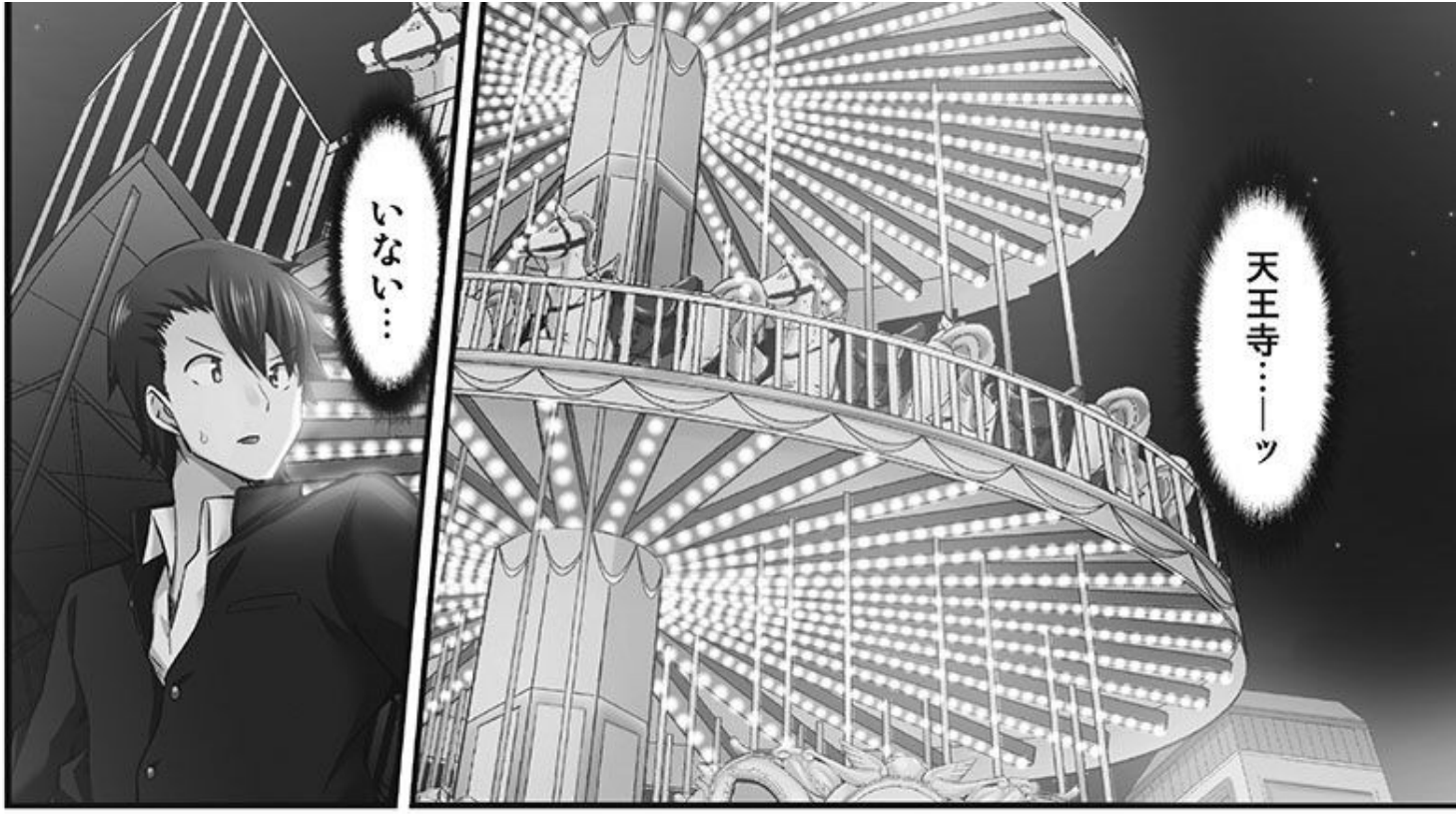

白馬に乗った王子様になぞらえて
メリーゴーラウンドでの告白が男の子側の伝えなの
第1話

メリー…
ゴーラウンド…？
最島…前言ってたよね
俺よく考えたら天王寺からちゃんと答え聞いてないぞ…？
は…はぁ？
こよそれ…
亜子様に告白したけれど返事もらえなかったって…

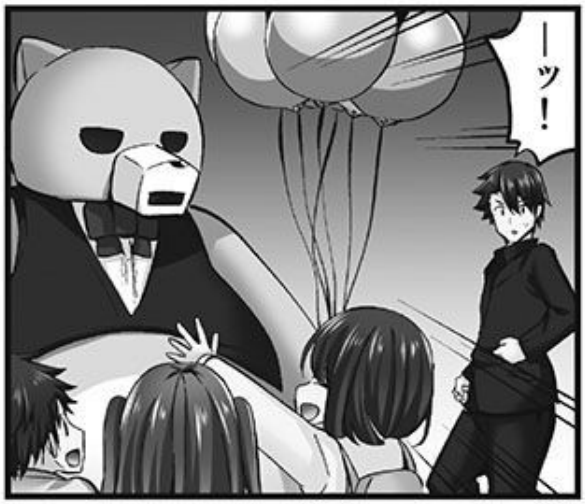
亜子様は…
時間をおいた
今じゃなく…
最島からもう一度
きちんと告白
された上で…
ちゃんと返事
したかったんじゃ
ないかな…
…！
最重要アトラクションだ！
行くぞ都!!
はい！
亜子様!!
だからあいつ…—
いの一番に
メリーゴーラウンドに…？
亜子様多分
待ってるよ
お…
俺…—ッ
どうしたら…ッ
こんな所で
油売ってる
場合じゃ
ないでしょ！

はやく行っちゃえ！
わりぃ…ッ
ダッ
バ――カッ!!
ﾀﾀﾀ…

…―
私…お人好しすぎるのかな…
もうすっかり夜になっちまったな…
ﾀﾀﾀ…
えぇと…メリーゴーラウンドはたしか…―


天王寺……ッ
いない…

橘ッ
ガク
ガク
ガク
天王寺
見なかったか!?
お前なら知ってる
はずだ…!


ッ!

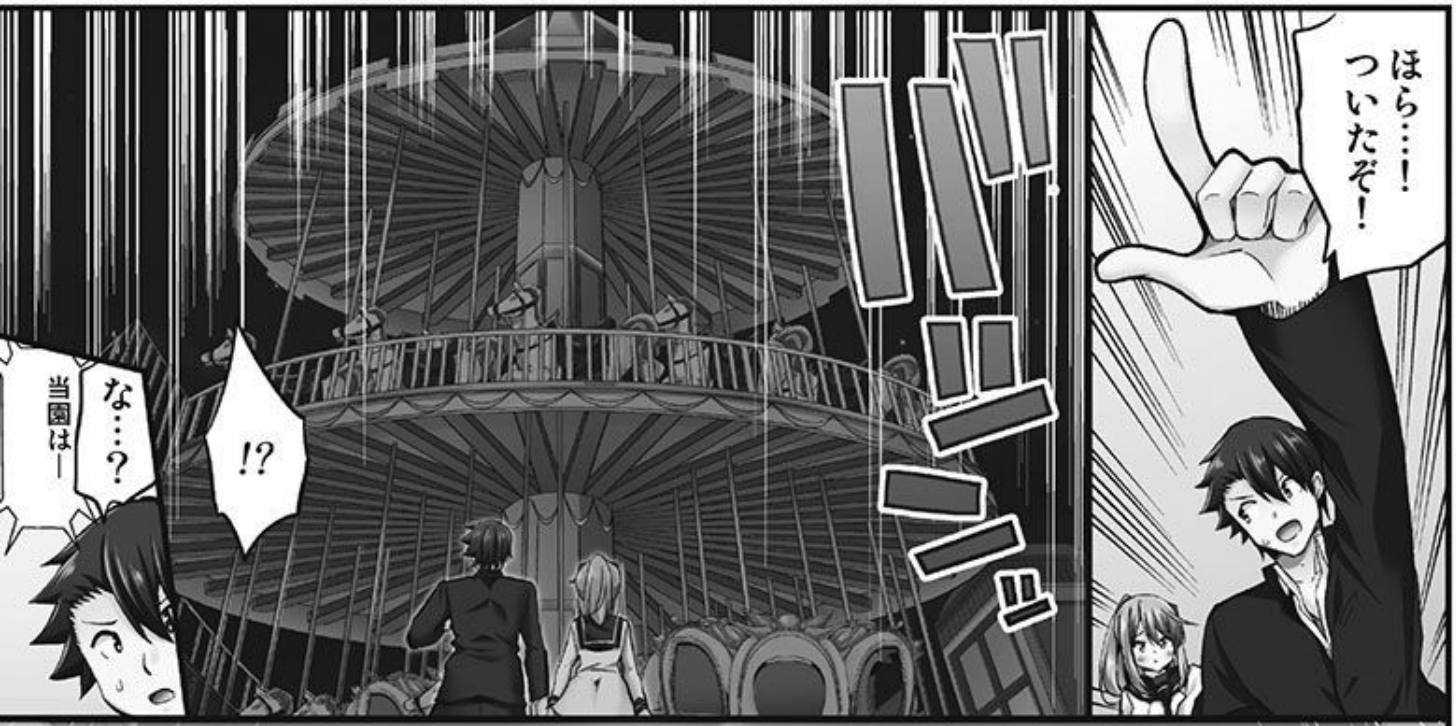
ダッ
くそッ
どこ行ったんだ
天王寺……ッ

ぺこぺこ

こ…こまります…!!
え?

ザッ
最後の…
最後で…—
まさかと
思ったが—…ッ
ゼー
ゼー
見つけたぞ…
天王寺…—ッ
最島…

まさか城に戻ってるとはな…
ハ？…
ハ？…
…ッ
さっきはすまなかった…
私の…わがままで…振り回してしまって…
結局噂話は与太話…
場所なんてどこでもよかったんだ…
天王寺…
お前って意外と乙女だよな
…
は―…なッ!?
行きたいんだろ？メリーゴーラウンド
え!?ちょ…ッ
いくぞ！

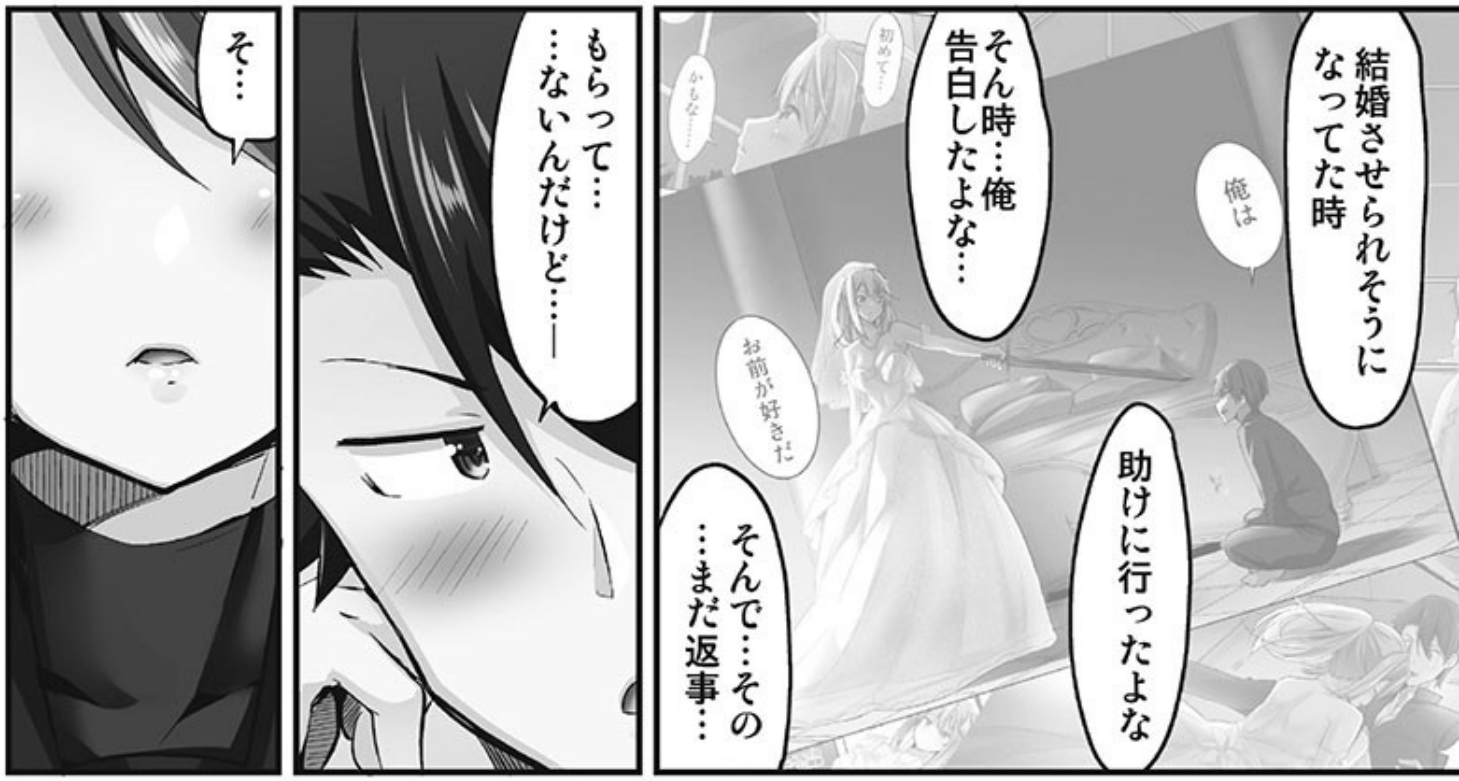

ほら…！
ついたぞ！
バババッ
!?
な…？
当園は―

閉園のお時間となりました―
そんな…
皆様またの来園をお待ちしております―
……の…

乗ろう！ほら！真っ暗でも…！
いや…ッしかし…ッ
カッ
!!
え…!?なん…で…
…！
今…一瞬橘の姿が…
サンキュな
え？
なんでもない
ガチャ…
さぁ…のろう
天王寺

ゴゥン
ゴゥン
ゴゥン
ゴゥン
ゴゥン
…
な…なんか
この歳で少し
恥ずかしいな
外に誰も
居ないとはいえ…
うむ…
いやお前は昼間
乗ってただろ
あ…ッ
あれは…
都とかいたし…
まさか男と二人で
乗るのが恥ずかしいとか
言い出すんじゃ
ないだろうなぁ
…

なんで無言なんだよ
…
天王寺が…―


結婚させられそうになってた時
俺は
初めて…
かもな…
そん時…俺告白したよな…
助けに行ったよな
お前が好きだ
そんで…その…まだ返事…
もらって…ないんだけど…―
そ…

そんなんじゃダメだ!!
ダメ出し!?
ダメって…どうすりゃ…
そうやってまた人に…―
自分で…考えろ…
…
わからない…わからないが…

天王寺はもしかして…
家柄 教育 立場
そういう煩わしいものを
背負って生きてきたから
言いたい事が
ストレートに言えなく
なってるんじゃ…？
なら…そのタガを
外してやれば…——
…うむ…
わかったよ天王寺
そっち行っていいか？
コイツで——ッ!!
な…!?
!?
ちが…ッ
急に何をするんだ!!
まぁまぁ
ヌルッ
お…
お前は
何もわかってない！

あ…
なんか…力が…？
はふ…!?
あ…
れ？
や…ちが…こういうんじゃ…
さ…最…
んむぅッ

や…だめだ最島…
誰か来る…
閉園してるんだ平気だよ
ゴウン
ゴウン
でも…キャストさんが
広いんだすぐには気づかれないさ
ルッ
はぁ…
胸にもまんべんなく塗ってやろう
ぐぐ
ぐぐ
相変わらず…
いい胸してるな…
…―ッ
ば…バカ…何を…
あ…ッ
ぷるっ
ぷる
は…
ぷる
ぷる
ブラのワイヤーきついんじゃないか？
チン

興奮してるのか？
はーい
ほぁ～
や…ッ
ちが…なんか
あ…
身体が…
ヤぁ…
ビクビク♥
熱く…て…
その…
はぁ～い
どうしたんだ
天王寺
んん？
乳首
こんなにして
ゴリッ
あッ
ビクっ
ビクっ
ビクンっ
～～～～ッ

それにここも…
あッ!?
こんなに
糸引いて
そ…そのーッ
どこが
熱いんだ？
ここか？
ぴったん♥
ぴったん♥
ぴったん♥
あッ
ひゃ…
ちが…
最島ぁ…
ひぅッ

もっと…
奥う…
だいぶ効いてきたな…！
わかったよ
あッ
んう…ッ

あッ
最島…
だめ…
指…はげし…ッ
そろそろ素直になってきたか…？
は…っ
…天王寺
告白の返事…
え…ッ
ちゃんとくれよ
か…ッ
過去の返事なんて…
過去の気持ちなんて…
人の気持ちなんて
コロコロ変わって
しまうからダメだ…ッ
最島の今の気持ちを
私は知りたいんだ…！
今の…
あ…ッ
や…ッ

はぁ…
最島…
今の気持ち…？
そんなの…
俺の気持ちは…
あの時と何も変わってない…！
はぁん…ッ！
あの時って…
だから…！！
あッいや…ちょ…
ちょっとまってくれ…ッ
あの時の気持ちって…？

こ…っこのまま言うのか？
はーい
あっ
びくっ
はーい
それは…
それでいいじゃんか
そ…ッ!?
もしかしたら一生の思い出になるんだぞ…？
あこがれの場所でッ
つながったままッ
一番近くでッ
うん…
俺の想いを受け止めてくれればいい…ッ
うん…ッ
あっ

好きだ…ッ!!
天王寺…!!
あ…ッ
そんな…
力強く…ッ
心も…ッ
頭も…ッ
身体も…ッ
おかしく
なってしまう…ッ
だめだ…ッ
我慢…でき…
ない…ッ
我慢なんてするな…!
自分を…
さらけ出せ…ッ!!
あ…ッ
無理…ッ
もう…ふぁ…ッ
もう…——ッ
あ
やっ

最島ぁッ♥
あ
ガクッ
ドサッ
ビクビク
ビュルルッ
ビュッビュッ
ビュルルッ
ビュッビュッ
ガクガク
ガク
ビクッ

メリーゴーラウンド…
止まっちまったな
あぁ…
そうだ…最島…
きちんと…
きちんと
返事してなかったな…
天王寺…
恥ずかしいんだが…な
私は…
最島といると
たまに身体が火照って
思考がくしゃくしゃして
胸が熱くなるんだ…
こんなの今まで
感じたこともない…
だから…
きっとこれは…
私は…最島を…——
その…
す…
す…——

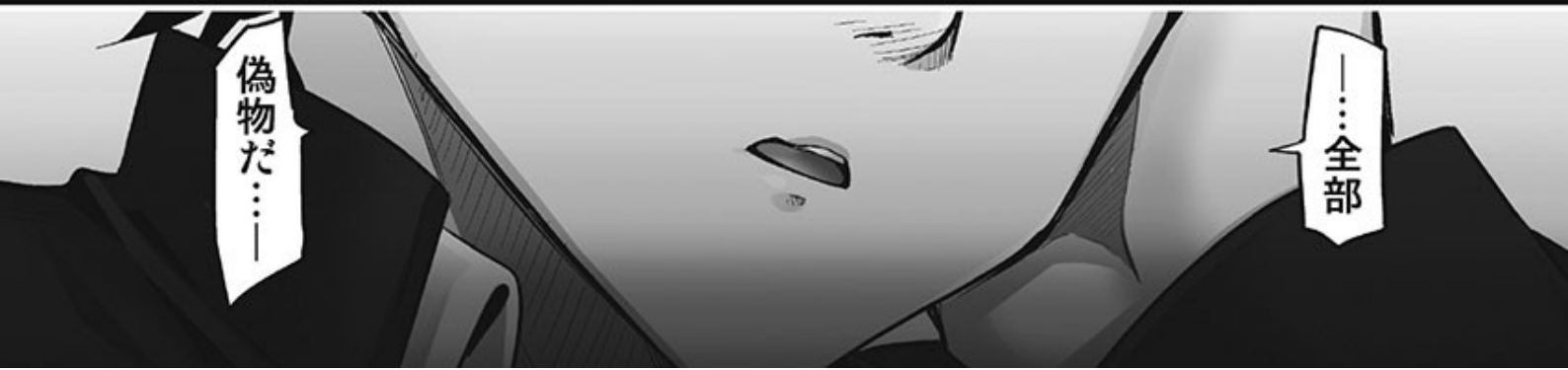
降りるか…
ガチャ
え…？
あ…あぁ…
いや…
あの…
私は…その
最島をだな…
その…
…もう行こう
え？
さ…
最島…？
多分…みんな
待ってるから

亜子様！
最島…！
よかったわ無事で…
もう少し遅かったら
警察に行く所
だったわよ！
いや～
すみません
あ…あんた
やったわね！
ついに亜子様を―
この！
この！
海凪…
…
…最島？
…
気がついて…
しまったものは…
拭えない…

さっきの天王寺の発言は興奮剤の効果に依るものだ―。

でも

そんなものは全部―



第2話
ジャッ
ジャッ
ジャッ

…
ジャッ
ジャッ

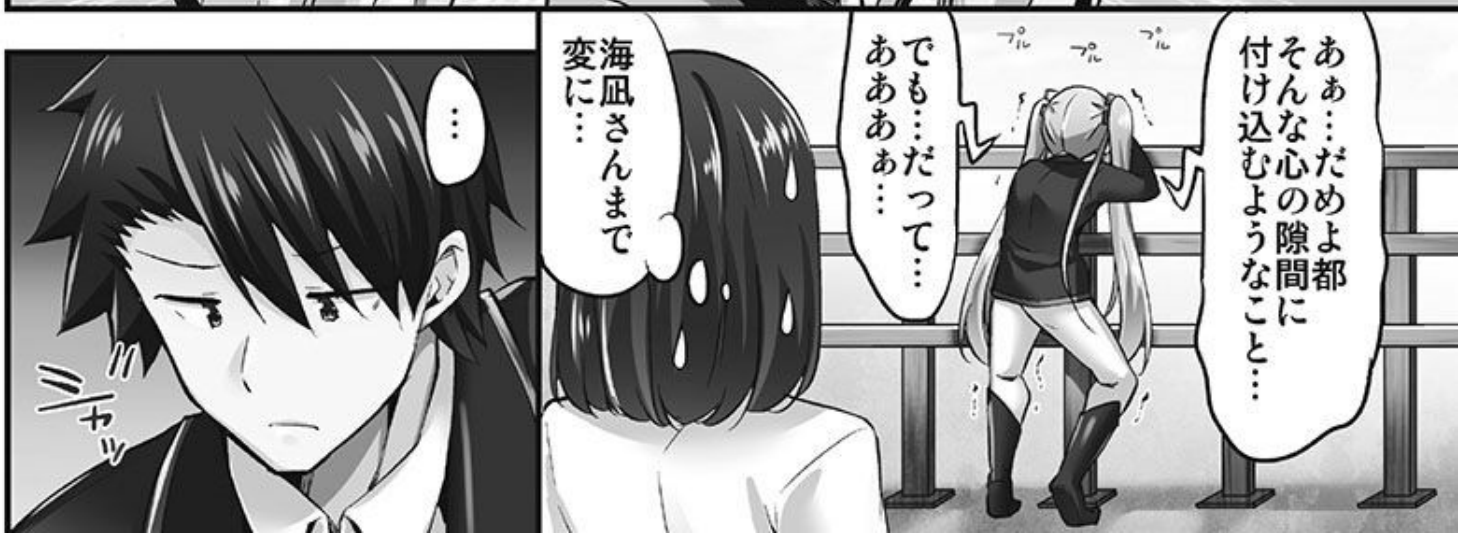
最島くん
どうしたの？
ディスティニーの
帰りから様子
変じゃない？
さ…さぁ…
…

…
最島…
どしたのかしら…
あの夜いったい
なにが…

もしかして…
ぎゅ…

亜子様にフラれた…!?
お前のような優柔不断などこちらから願い下げだ…
天王寺～
ってことはー
つまり…

私にもチャンスがー!?
ピィィィ

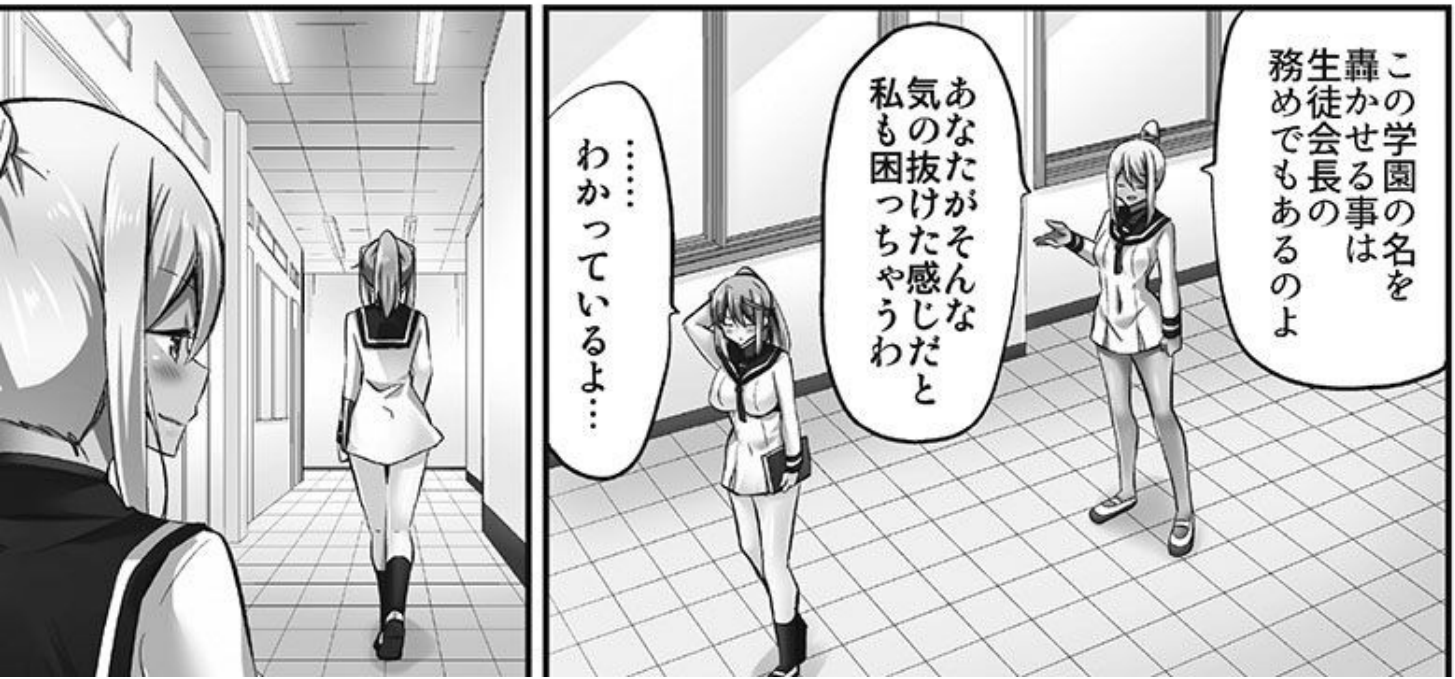

あぁ…だめよ都そんな心の隙間に付け込むようなこと…
プル プル プル
でも…だってあああぁ…
海凪さんまで変に…
…
ミシッ

会議室
では―
今回は以上で各部部長会議を終了します
ざわ
ざわ
…
最島……
あこ様だ
あこ様だ―
あの夜…私は最島に…
なにかしてしまったのだろうか…
天王寺…!!
はぁん…ッ

だめだ…
思い当たらない…
おっと…
パサ
パサ
！
トッ
何ぼーっと
してるのよ
会議中も
どこか上の空で
ねっちゃ…
寧羽会長
ありがとう
寧羽書記長ね
…いつまで
「会長」ということを生徒に
隠しとくつもりなんだ
うーん
バレるまでかしらね
だって面白いじゃない
私には
わからんな
亜子こそ
なにか隠してるんじゃ
ないの？
…なんのことだ…
最島くんの事
とか
ゴン

あら？
図星～？
じん じん
…ッ
か…ッ
関係ないな…
本当に？
しっかりして
ほしいわね

亜子は
任されてるんだから
フランス
凱旋門賞の
名誉ある前座
未来杯の
日本代表にね


この学園の名を
轟かせる事は
生徒会長の
務めでもあるのよ
あなたがそんな
気の抜けた感じだと
私も困っちゃうわ
……
わかっているよ…

ゴゴゴ
ひと嵐来そうよねぇ
ニヤ…
最島くん
邪魔だ
胸どけろ
だってずっと黙ってるんだもん
ムニュ
話があるって言うから来たんだけど…
そ…そうだった…

興奮剤の事を
知ってるのは
橘だけだからな
俺…
気がついちまったんだ
俺に副作用が
出るように…
使ったみんなにも
少なからず
残っていて
興奮剤なんて
知る由もない人間が
それを俺への
好意だと思っている
それは偽物の
感情だ…—
…天王寺も…

でも最初はえっちしたくて使ったんでしょ？
まぁ…そうだけど…
…いや正確には違うが…
遊びというか…
出来心と言うか…
でも…
一時的なものだと思ってたんだ…
…こんな事になるとは…
手が届いてしまうからこそ
偽物の感情に付け込む事ができない…
そういう葛藤なのね…
バカなのに真面目だなぁ…
ま…
そういうところも…
でも一つだけ勘違いしている
な…ッ
橘…!?
私は興奮剤なんかなくとも
少なくとも…
最島くんの事好きだよ？

きゅ…急に何を…!?
こうでもしないと
信じないかなって
おわッ
トン
お前だって…!
はじめは興奮剤だったじゃないか…
そうだったかな?
でもあの時最島くんが美人って言ってくれて嬉しかったのも事実だし
プチ
プチ
いや…お前なら言われ慣れてるだろ…!

私
変な娘だから
あんまり
言われないかな…
自覚あるんか
気分じゃ無いなら
そのままでいいよ
元気がないの
見てられないもん
ムニュ
お…おい
橘……
今
それどころじゃ…

硬くなってきた…
なで
なで
わ…っ
ビクン
♥
た…橘…
じゅぷっ
ぐぷっ
ぉぷっ
ん…
ん…
モニュッ
モニュッ
ビクッ♥
ぬろっ
う…ぁ…
ふぐ…ッ
じゅるるるっ!!

ひくんひくんしてう
……ッ
興奮剤のせいじゃないと言ってはいるが橘も……
ん？
ス…
ちゅー
ふむッ!?
ひゃ…
ひゃい島くん…
んぶッ

ぷはッ
気が変わった
な…何を…
ケホ
ケホ
最じ…
ん…ッ
はむ…ッ
んゥ…ッ
んぅ…ッ

さ…最島くんどうしたの？
なんか怖いよ
ひぐ…ッ
フル
フル
フル
カリ
カリ
カリ
！
ぱっ
ちゅ…

あ…ッ 最島く…
ひぅ…ッ
!!
ん…ぷっ
んッ
最島くん…ッ くるし…
はぐッ
そんな激しく…—ッ だめぇ…
…出すぞ橘
一滴もこぼすなよ
!

ごくん…
けほ…ッ
ハッ
ハッ
んぐ…
ぴくっ
橘…
さ…最島くん…
ごめんな
…？
でも気がついただろ…
興奮剤で俺が気になってただけで…
本心では俺のことなんてこれっぽっちも好きじゃないって事…
…うん

自分から嫌われようとしても無理だから
そんなんで人の気持ちは変わらないよ
あ…おい
のし…
…え？
メチッ
あ…ッ深…
…んふ
さすが絶倫…
ちが…副作用で…
ぴく
メチ…♡
ぢゅぢゅぢゅぢゅ
はーい♡
はーい♡
ミチ…

はーっ
はっ
はーっ
みんなが興奮剤で変わったかは定かではない
でもだからといって自分から嫌われに行く必要なんてない
偽物の感情だとしたら本人も違和感に気がつくよ
人はそんなに弱くない
人をッ試すような事ッ
だからッ
しちゃッダメだよッ

…ごめん
わかればよろしい
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ん
ちゅ
ん
れろれろ
はん
ヌチュプ
チュ
チュ
ブピッ
コプッ
ヌプッ

ゾクゾクっ♥
あっ
いっ
あんッ
びくん
んぁ…ッ
ぐちゅっ
まろっ
ズッ
グプッ
ヌチッ
ニュッ
ズンッ
プッ

パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
橋は…

エヘ…へへ
そ…
そう…かな？

そうかなー？
私年上っぽいことしてるかなー？

あれ？
もしかして照れてる…？

い…っ
あ…ッ

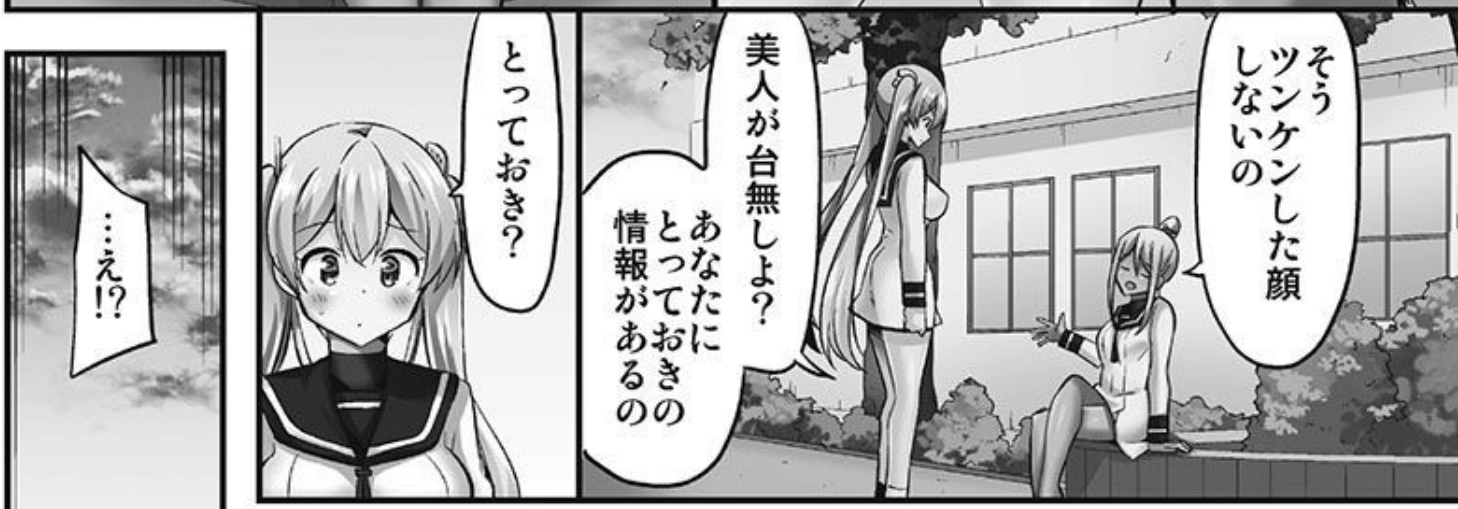
ドキ…
…ッ
なんだかんだ…
頼りになるな
さすが年上だ

さっきは本当ゴメンな
俺もう…しないから…
うん…でも
前にも言ったけど…
私は強引な最島くんも好きなんだよ？
橘…ッ
お前なぁ…
んふ♥
いいよ
全部受け止めてあげる…♥
おちんちんビクビクしてきた
だってお前…そんなの…ちんこに来るに決まってるだろ
う…ッ

あ…ッ
出る…ッ
橘…
出る…ッ!!
んぐ…ッ
あっ
ビュルルルル
ビュー
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ズポ…
いつもの最島くんに
はぁ♡
はぁ♡
戻ったね…♥
はぁ♡

こういうのはどう？
興奮剤を
しばらく封印する
封印…？
残留してるんなら
抜いてあげればいい
禁煙みたいな感じで
徐々に離れていけるん
じゃないかな
その後みんなの気持ちが
変わらないのなら
本物じゃない？
……そう
だな…
しばらく
興奮剤は
封印だ

なにか用ですか？
こんな所に呼び出して…
寧羽先輩


そうツンケンした顔しないの
美人が台無しよ？
あなたにとっておきの情報があるの
とっておき？
…え!?

最島を…
独占できる方法…!?

乗馬女子に騎乗の乗られたい！

煩悶トワイライト編

[YUUKI HB]

JOUBA NO KIJO NO RARETAI!

乗馬女子の騎乗られたい？！

煩悶トワイライト編

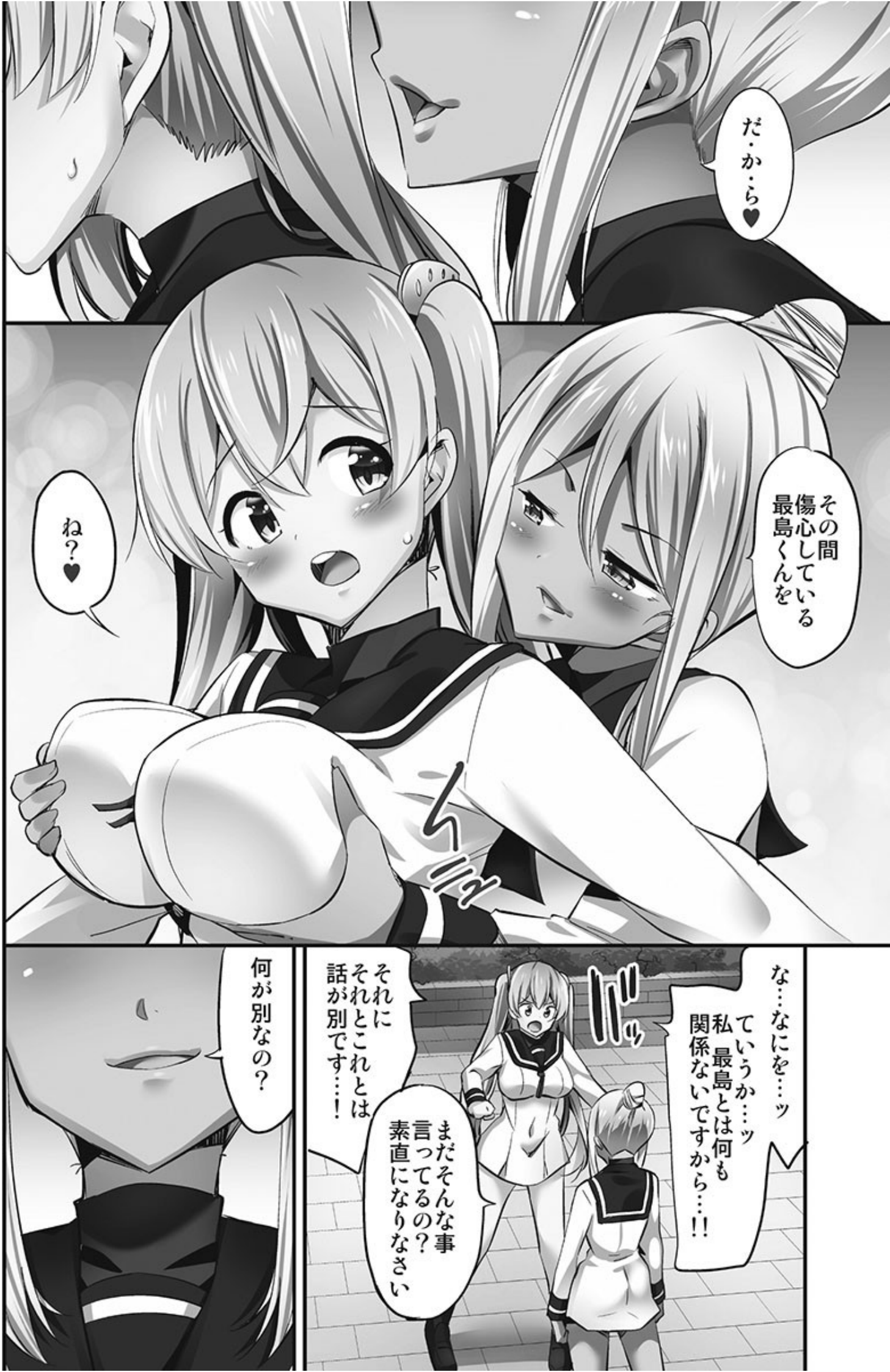
［YUUKI HB］

JOUBA NO JOUJI NI NORARETAI!

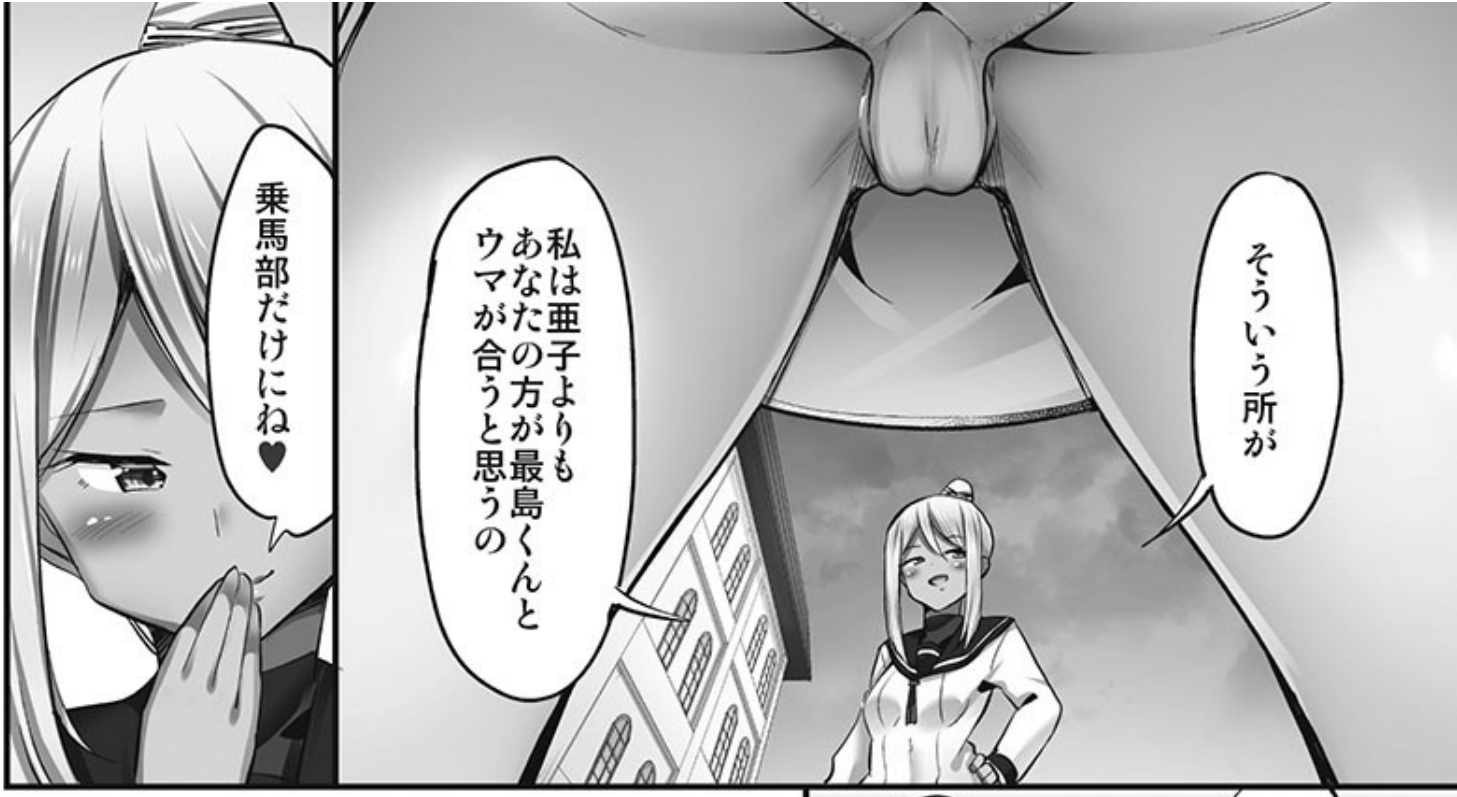
さ…ッ最島を
独占できる方法って…
何を…!?
まぁ…
正確には
少し違うのだけれど…
あなたからすれば
またとない
チャンスなんじゃ
ないかな～って
…はぐらかさないで
結論から
言ってください
せっかちねぇ…

亜子はもうすぐ
フランスに行くのよ
え!?
亜子様が
フランスに!?
なんで!?
凱旋門賞の
名誉ある前座
未来杯の日本代表に
亜子は選出されたの
……嘘?
信用
ないわねぇ…
これは本当よ
すごい…
さすが亜子様…
キラ
キラ
私達の希望の星…

第3話

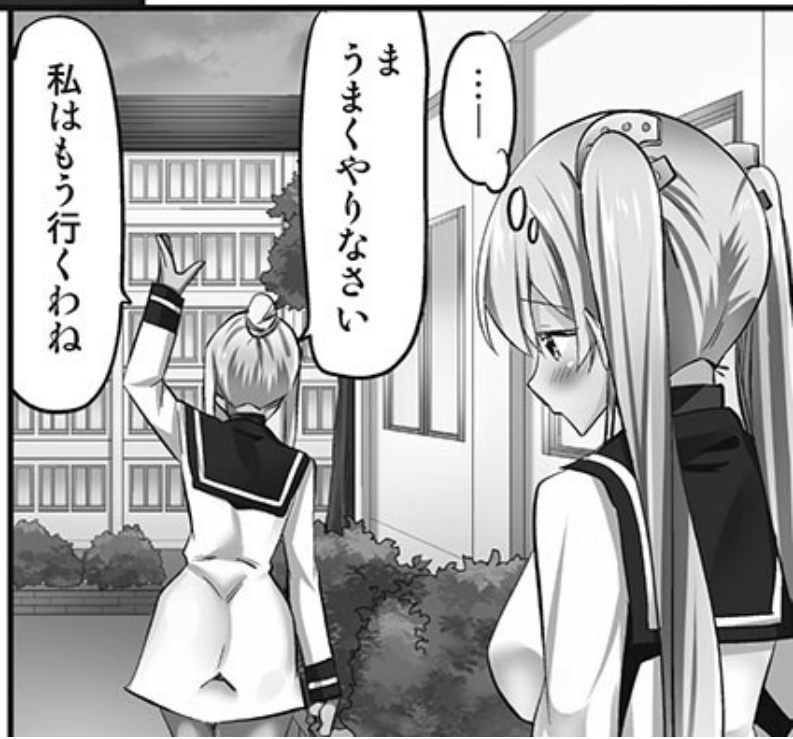

だ・か・ら♥
その間傷心している最島くんを
ね？♥
な…なにを…ッ
ていうか…ッ
私 最島とは何も関係ないですから…!!
それにそれとこれとは話が別です…！
まだそんな事言ってるの？素直になりなさい
何が別なの？

引いて引かれて
追って追われて
恋愛って
スキあらば射止めて
自分のモノにして
駆け引き上手が
勝者になれる
そういうものよ
そんなの…
フェアじゃないっていうか…
本物じゃないっていうか…
偽物です
…
そういう所


そういう所が
私は亜子よりも
あなたの方が最島くんと
ウマが合うと思うの
乗馬部だけにね♥

なにを…
言っているんですか…
だいたい
最島は亜子様を…

…最島と…
亜子様に…
何かがあったのは
間違いない…
やっぱり…
チャンスと言えば
チャンスなのかな…
…でも…


…
ま
うまくやりなさい
私はもう行くわね

雨
降りそうだし

やっぱ降ってきたか
ん
プップー
乗ってく？
のんちゃん先生…！
あの…ありがとうございます
んー？いいのよついでだし大した手間でもないし

…
元気ないわね
ディスティニーで何かあったの？
あ…いえ…まぁ…
…のんちゃん先生も年上だ…
…もちろん橘よりも…
俺より人生経験を積んでいるんだからなにかアドバイスをもらえるかもしれない…
先生は…
彼氏とか居ますか？
唐突にキタ――――ッ!!
ドッキーーーン
あっ!?そういうことそういう事なのこれ!?!?
え～？
エヘ
急だなー最島くんは急だなー急に急なんだなー
でも丁度たまたま偶然今はフリーかもよ!?
Free
KAMOYO!!

そうですか
ネ!?
反応うす〜いッ!!
…好意が…
相手からの好意が
偽物だと
気がついたとき…
相手のためにも
身を引くのは
正解なんでしょうか?
難しい事
言い始めた…
でも…
深刻な悩み…
なのよね…
ていうか…
私の好意は
偽物じゃないわよ!?
若い子はもっと
ストレートな方が
わかりやすいのかしら…
…ひとまず…
ここは年上として
そして先生として
元気づけて上げる
べきよね…!
男の人を…
元気に…
ストレートに…
元気に…
ゴク…

ストレートに…
最島くん…
好意を好意で伝える…!!
え!?
ツ
?
先生ここ…
ちょ…先生ッ何を…!?
大丈夫若いんだから気を遣わなくていいのよ
先生が元気にしてあげるからね
さわ
きゅ

せ…先生ッ
なんで急に……!?
先生が大きくしてあげる
まだ元気ない
うッ!?
先生には一度も興奮剤は使ってない…!
これは俺に残留した興奮剤の副作用…ッ
男の子の…匂い…♥

うぐッ
ビクッ
先生…だめです…こんな…
れろっ
れろぉ
あ…ッ
あいかわらず…すごいテクニックだ…
ぺろっ
しゅぷ
しゅぽっ♥
ぺろっ
ぺろぺろ…
しゅぽっ♥
ちぱっ
ちぱっ
んむっ♥
ん♥
ん♥

う…
やわらかい…ッ
ろう…？
きもひい？
あ…あの…ッ
はい…うッ
…あッ
せ…先生…
も…う…ッ
ん…
ひいよ…

あ…ッ
ビクッ
ん♡
ちゅっ♡
ちゅっ～♡
ぴゅる
ぴゅっ
ぴゅる
ぴゅる
ぴゅる…
ぴゅる…
ぴゅる…

ここは私がリードして…
最島くん…
先生も…気持ちよくなりたいな…♥
ハル…
こうなったら…もう発散させるしか方法は…!
ビクン
ビクッ
あっ♥

先生の…もう
びちゃびちゃ
じゃないですか
だって…
クチ…
はっ…♡
…最島くんの
舐めてたら…
興奮しちゃって…♥
は…♡
ジュルルル
あッ♥
ヌロ…
ぬちゃ
ぴくんっ
はっ…♡
あっ♡
ぴくんっ
そこ…♡
や…ッ
最島くん…♥
コリュ
コリュ
コリュ
コリュ
コリュ
ビク
ちゅぱぱぱっ
んふう…ッ
ビクン

あっ
指い…ッ
ハッ
ハッ
いいっ
もっと…
ハッ
激しく…ッ
あ…ッ…ッ
最島くん…
もっと…ッ
もっと奥…ッ
い…
あい
ふっ
んっ
だめ
あん
てん
そこ

はーい
はーい
はーい
もっと…
ナカまで…
頂戴…ッ♥
ヒクヒク
ヒクヒク
発散させるために
やり始めたが…
相手は先生だぞ?
一度ヤッては
いるが……
先生…
こっちって
した事ありますか?
ぐぐぐっ
ひゃ…ッ
へ!?
そ…そこッ
お尻の穴…!?

し…したことあるわけ無いでしょ…!!
本当ですか？こんなにパクパクして…
…ほら…先生の愛液ですんなり飲み込んでくれましたよ
ん…ッ
…お……
男の人のは…挿入れたこと無いけど…
自分でする時…
指を少し…
…じゃあー

もうほぐす必要は無いですね
愛液でヌルヌルですし…
ぴた…
え!?
ちょ…ッ
心の準備が…
大丈夫ですよ
ゆっくり
入れますから
力抜いて
ん…ッ
ぴと…
ぴくっ
ヌプ…
ヌププ…
はう…ッ
ゾクゾク
うぁ…
入り口は
キツキツなのに…
奥…暖かくて…
やっわらけぇ…
ぜ…
はっ…
全部入った…?
はっ
はい
はっ♡

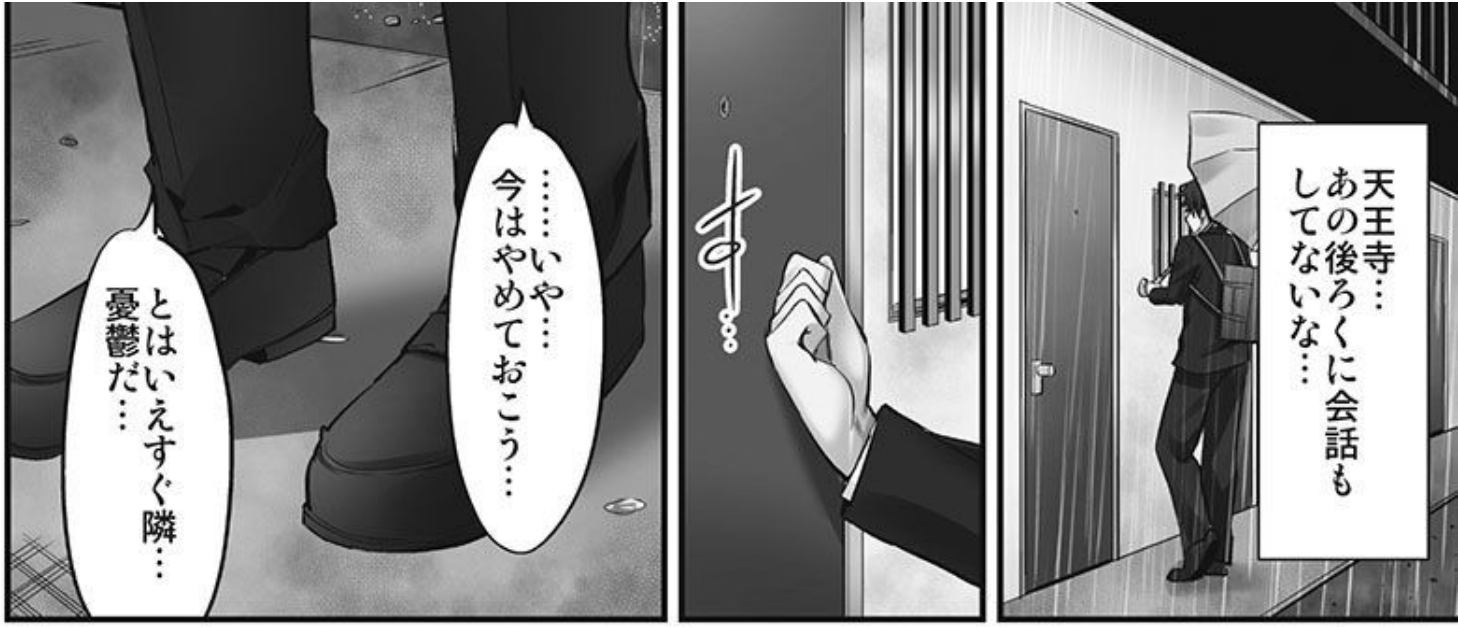
動きますね
あ…ッ
あっ…
なんだか…
変な感じい…
先生
自分でもいじってみてください
え？
違和感薄れるかもしれないし
～ーッ
あっ
おッ
ふぐ…ッ
どうですか？
これ…ーらめ…ッ

突かれる度に—
はーい♡
あーい♡
キュンキュンするぅ…♥
あ…ッ♥
うそ…ッ
初めてのおしりで…ッ
イキそう…かも—
だめ…
あっ♥
…イっ…いくッ
…アッ
先生…俺も…
良いですか…！
最島くん…ッ
お尻で…ッ
イッちゃだめ…♥
え!?

やっぱり
こっちで
イキたいから…
は〜♡
は〜♡
ぴと…
ちょ…
先生…ッ
ぬりゅん
ぬりゅん
パン
パン
あッ
ふぐッ
私…
約束通り
最島くんとしか
しないから…
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

ビクン
ビクン
んっ
んんっ
ぴゅっ
ぴゅっ
ガク
ガク
あ…ッ
ぎゅ
ぴゅく…
ぴゅくっ
ゴプッ
ビクッ
ビクッ
あ…
は
は
は
は
は
…いっぱいでたね…♥
プル
プル
プル
ぴゅん
ぴゅん

また…
しちゃったね…
はい…
すみません…
俺のせいで…
だ…だから
最島くんの
せいじゃ…!
いえ!
俺のせいなんです!!
信じて…
もらえない
でしょうが…
俺…その…
……その…
…言って信じて
もらえるのか?
信じてもらっても
それはそれで
大変なことに
なるんじゃ
ないのか…?
…最島くん…
人間だれしも
秘密を持ってる
ものよ
キッ
でも先生は
最島くんの味方
だからね
ブロロロ
何やってんだ俺…
色んな人に
迷惑かけて
心配させて…


天王寺…
あの後ろくに会話もしてないな…
ま…
……いや…
今はやめておこう…
とはいえすぐ隣…
憂鬱だ…

じゃあ…
うちに来る…？
え？

み…
海凪…―!?

乗馬女子に騎乗の乗られたい！

煩悶トワイライト編

[YUUKI HB]

JOUBA NO KIJO NO RARETAI!

乗馬女子の騎乗られたい？！

煩悶トワイライト編

［YUUKI HB］

JOUBA NO JOUJI NI NORARETAI!

…
第4話
サイジマー
きゃっ
サイジマー
きゃっ
ワィ
ワィ
ワィ
なんこれぇ…
こら！

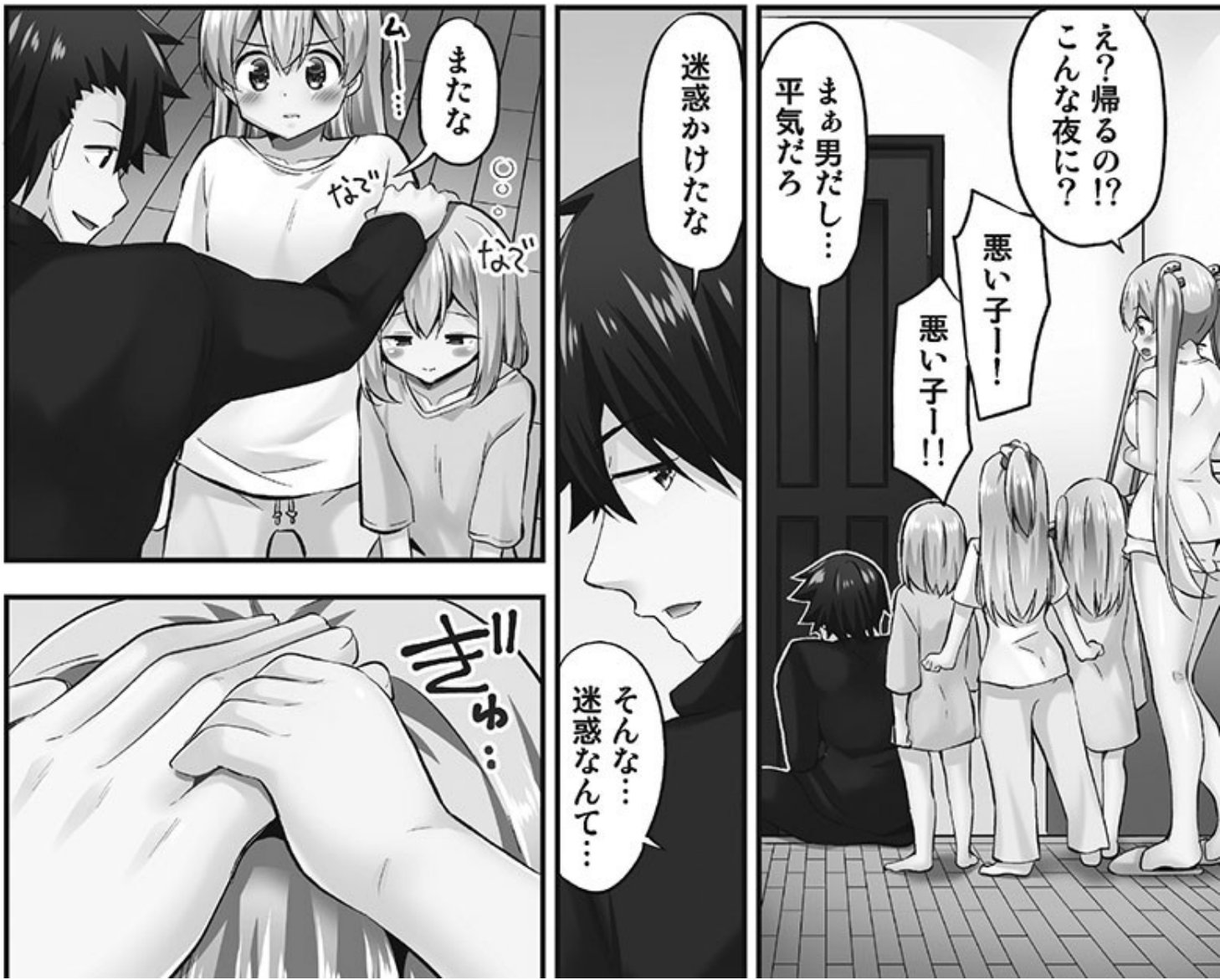
最島お兄さんでしょ！
もしくは召使い
おい
メシツカイー
メシツカイー
お前このために呼んだな？
そんな事ないわよ濡れた子犬を助ける菩薩の心よ
メシツカイー
まぁ夜飯できるまで面倒見ててよ
週末親居なくてさ
やんちゃで目が離せないから困ってたの
…
はぁ…
急に誘われたかと思えばやっぱこんな用事か…

まぁでも…
……興奮剤は…
家においてきた
何も間違いは
起こらないはず…
はーい!
ドタ
バタ
ドタ
ほらーッ
ご飯運んでー
いーたーだーきーまーす!
ごちそーさまでしたー!
おはは
まてー
ドタ
バタ
ドタ
バタ
お腹いっぱいになった?
あぁ
最近一人ぐらしでコンビニ飯ばっかり食ってたからな
海凪って意外と
なに?
う…
そうか…
みんな海凪か…
み…

…都…は
料理うまいんだな…
……あ…
ありがとう…
さ…ッ
さーみんな！
ご飯が終わったら
お風呂の時間ですよー
おっふろー！
…
ん？
なんだ？
サイジマも
一緒に入ろー

きゃッ!?
つれてきたよー
お…お兄ちゃんは
あとで入ろうかな
サイジマ
死んだー!
死んだー!
こらー!
早く来なさーい!!
お前のせいで
えらい目にあったぞ…
つか風呂
入らないのか?
サイジマ一人だと
寂しいだろうから
私が一緒に
入ってあげるよ
なんかこういう所…
海凪に似てんな…
風呂まで
入るつもりは
なかったんだが
シャー
しゃーないか

天王寺に合うのが気まずくて海凪の家に来ちまったが
海凪にも興奮剤は使ってるんだ…
まだ効果は抜けてないだろうし…落ち着いたら帰るかな…
仕返しだ
あれー？ずっと泡流れないよー？
？
？
チュ
チュ
チュ
あゎ
あゎ
あゎ


え？帰るの!?こんな夜に？
悪い子ー!
悪い子ー!!
まぁ男だし…平気だろ
迷惑かけたな
そんな…迷惑なんて…
またな
ムー…
なで
なで
きゅ…

サイジマも…
一緒…寝る…
いや…お兄ちゃんは
帰…
寝るのぉ…！
グリュ
グリュ
ずっと
握られている…
すー
すー
ガー
ガー
海凪
…何？
ピキッ
コイツ
離さんぞ…
癖なのよ…
自分から
離すの
待たないと
泣きじゃくる
わよ

お前そこ!?
だってここ私の布団だし!!
慣れてるし…お父さんやお母さんが居ないときだけよ…
ゴリ…
…いつも部活後に妹たちの世話してたのか
大変だな…
別に…
…でも…
労ってもらうのは嬉しいかも…
ムラ…
ドキ
ドキ
海…凪?
ドキ

ちゅっ
ムニ…
ちゅ
ちゅ
ちゅっ
!
お…おい…
妹たち…ッ
一回寝ちゃうと…
朝まで起きない
子たちだから…
のし…
プチ…
プチ…
ムニュ
無理に
手を離したり
しなければね…
ん…ッ
ムチュ…

興奮剤の…副作…
どっちだこれ…？
海凪は…
俺のことを…―
好きなの……！
私は……！
…いや…
あの時は既に
興奮剤は
使っていたから…
ちゅ
はぁ…
ちゅぱ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
はぁ…
ちゅぱ
…
多分…
最島が
元気なかったのは
亜子様が
留学しちゃうのを
知ったからだよね…
スッ…

国内ならまだしも海外だもんね…
さわさわ
ちょ…ッ
最島の…硬くなってる…
お…おい…っ
物理的にフラれちゃったみたいな感覚…なのかな…？
寧羽先輩の言ってた事を鵜呑みにするわけじゃないけれど…
積極的に行けば…来るかもしれない
私にも…チャンスが…
ビク ビクッ
う…ぁ

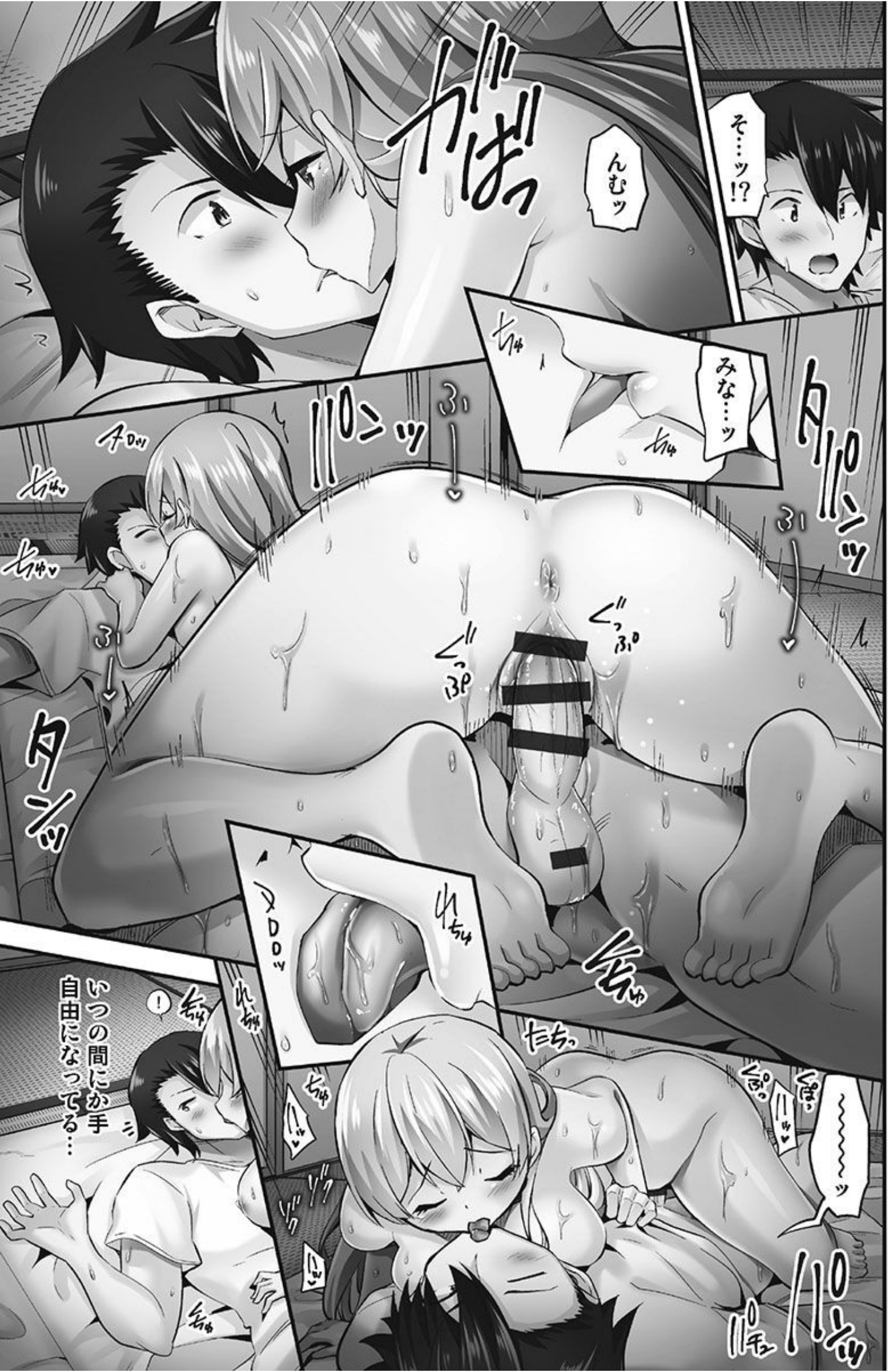
ちゅっ
ビクッ
ビクビク
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ビクッ
ビクビク
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ってそんなの副作用のせいに決まってるよな…
お前…どうしたんだよ…
硬い…
はぁ…
最島も…触ってよ
ビキ
ビキ
あ…あぁ…
んッ
ビクン
ビクッ
にぢゅ

海凪…
すっげー
濡れてる
はー
だって……
最島も……
気持ち…いい
……ッ？
あぁ…
乳首立ってる…
…！
顔に乗せて…
……
ん…ッ

はー
あ…
はっ
ちゅこ
ちゅこ
ぐっ
ぐぷっ
ぐぷっ
はー
ちゅこ
ちゅこ
ぐっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
はー
ちゅこ
ちゅこ
はー
はぁ
ちゅこ
ちゅこ
はー
ちゅこ
ちゅこ
はー
ちゅこ
ちゅこ
ぐっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
はー
ちゅこ
ちゅこ
はー
ちゅこ
ちゅこ
はー
ちゅこ
ちゅこ

布団洗濯しなきゃいけないじゃん
は…はぁ？おま…ココでやめられるの男は結構辛いんだぞ…！
もじ…
女だって……辛いわよ
――…え？
布団…汚さなければ…
いいよ…？
ど…どうすれば…
どうって…
……
ドッ
ドッ
ドッ
ムチュ…


そ…ッ!?
んむッ
みな…ッ
いつの間にか手自由になってる…

止めることもできる―が
…
ズぽっ
パンッ
ズぽっ
パンッ
んっ!?
ぐっちゃ
ズちゃ
くんっ
はぷっ
ん～♪
ズちゃ
ズちゃ
ズちゃ
海凪
気持ちいい…
起きないと思うけど…
静かに…ね
あ…ッ
ぐいっ

パン
パン
パン
パン
パン
ぷるん
ぷるん
ぷるん

海凪…イキそう…
奥に…ッ!!
布団…ッ汚れちゃうから…ッ
奥にだして…ッ!!
あぁ…!
ーッ
はーッ
ゾクゾク
パン
タチュ
ヒクヒク
ビクッ
ビクン
ビュー
ゴプッ

ちゅ♥
ん…
ちゅん
みな…
ちゅぱ
ちゅぱっ
んむ…
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅぽんっ
んふ…♥
ひく
ひく
トロ…
家庭的で献身的で…
ちょっと気が強いけど
一緒に馬鹿できる海凪
これも…
偽物の感情なのか…
……
本物の感情なら…
良かったのに…
……
本物なら…
俺は海凪を…？

海凪…
本心だと
思っていた
ものが
実は偽物
だったと
判ったとき
お前なら
どうする？
すー
すー
寝てる
しかも
着替えている…
むにゃ
むにゃ
ぎゅ…
むにゃ…
お前もかよ…

コン
コン
チュン
チュン
……
最島…

乗馬女子に騎乗の乗られたい！

煩悶トワイライト編

[YUUKI HB]

JOUBA NO KIJO NO RARETAI!

乗馬女子の騎乗られたい？！

煩悶トワイライト編

［YUUKI HB］

JOUBA NO JOUJI NI NORARETAI!

第5話
チュン
チュン
ん…
ハァ…
あ…そうか…
海凪の家で……
すー
すー
まだ握っている…
クイッ
トイレ…

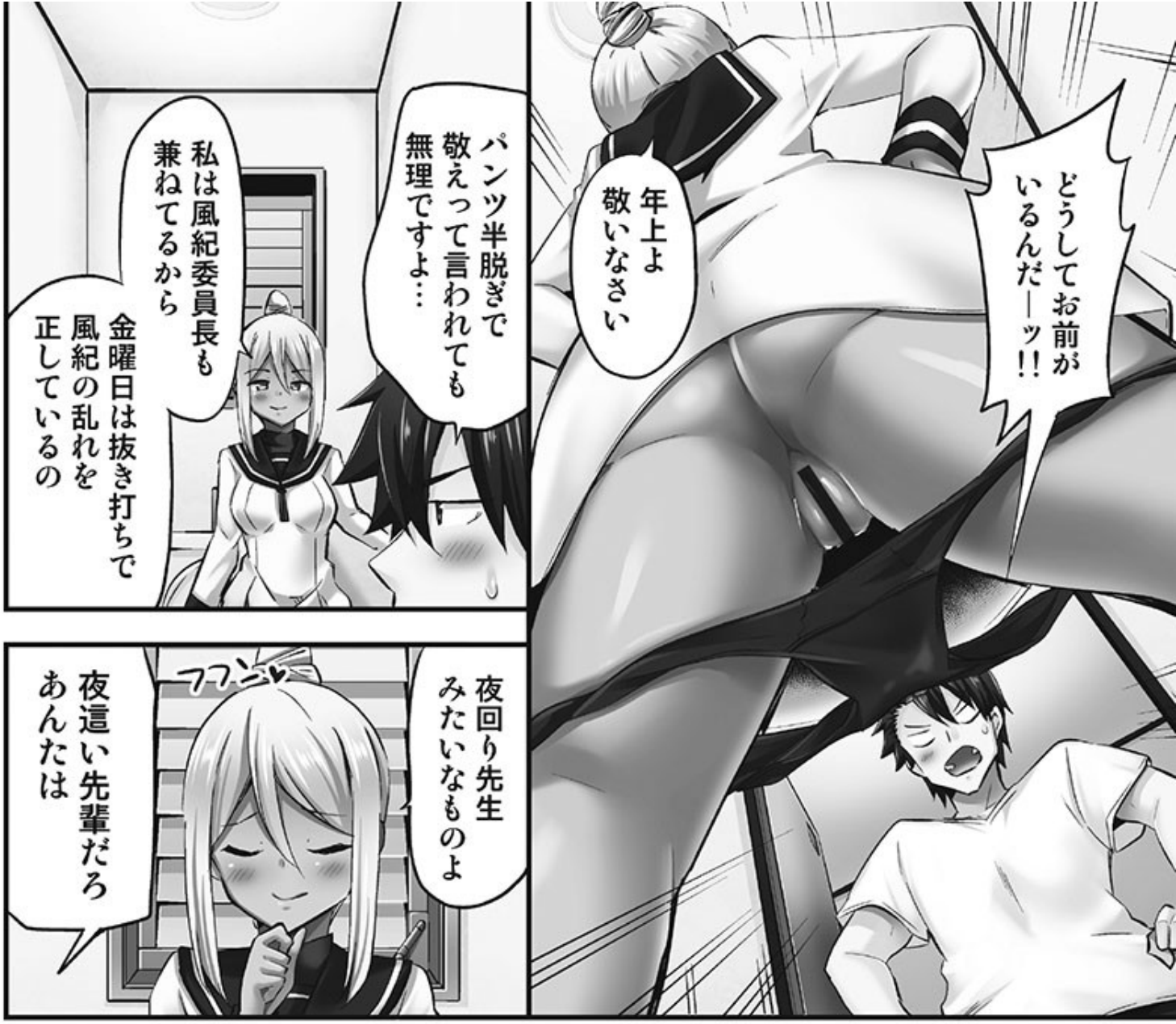
海凪もいろいろ苦労してんだな
まぁ…俺は一人っ子だから妹は羨ましいな…
3人共成長したら美人になるんだろうなぁ
お兄ちゃん♥

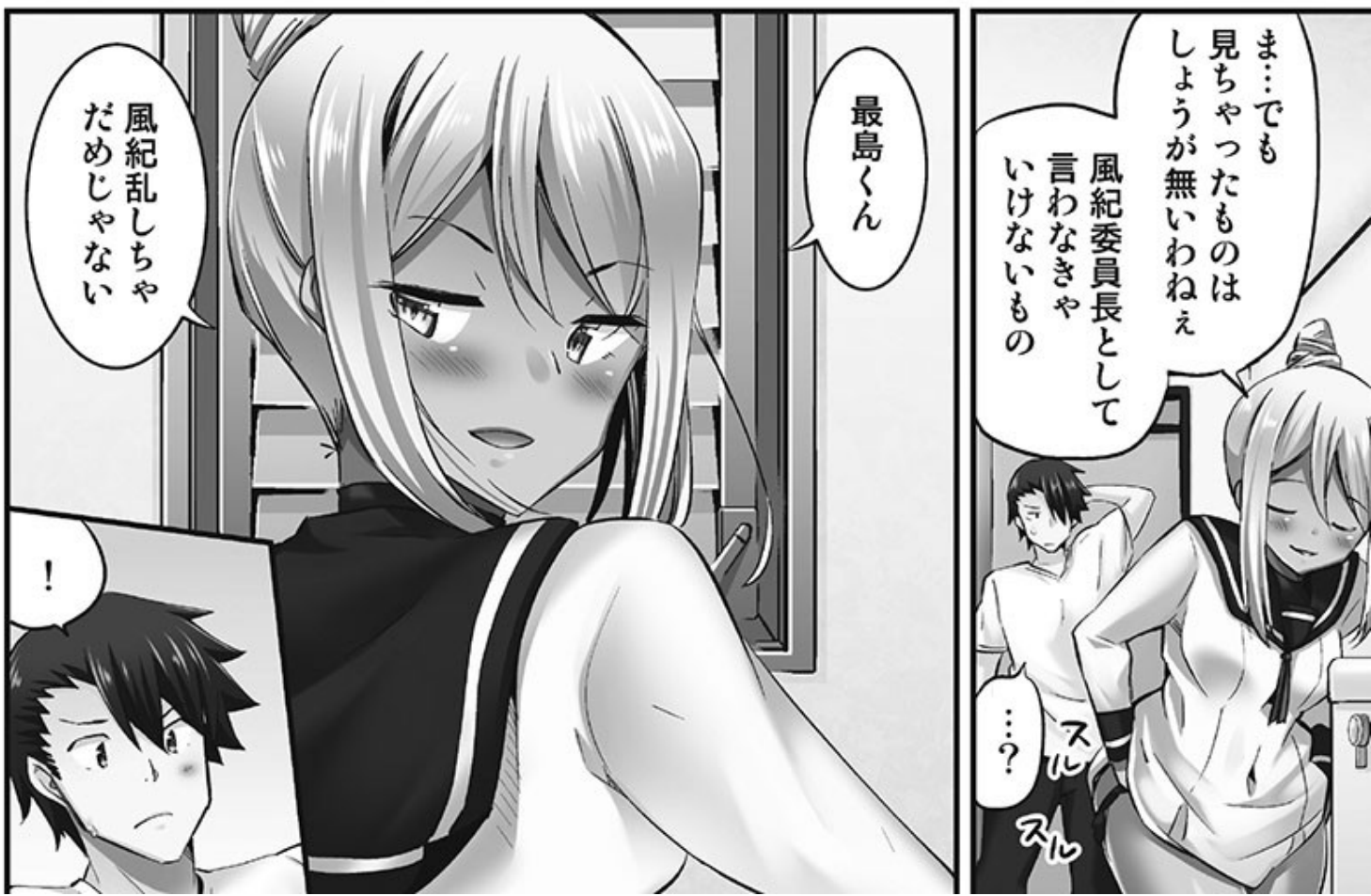
つかこんな状況で本当にアパートに引っ越してくるつもりだったのか…？
ん…
……
……
うれし恥ずかし何も言えない最島であった

おはよう
かしら…？
こんばんは
最島くん
ガチャ

ガチャ
やん♥

バタン…


どうしてお前がいるんだ―ッ!!
年上よ敬いなさい
パンツ半脱ぎで敬えって言われても無理ですよ…
私は風紀委員長も兼ねてるから金曜日は抜き打ちで風紀の乱れを正しているの
夜回り先生みたいなものよ
フフン
夜這い先輩だろあんたは


ま…でも見ちゃったものはしょうが無いわねぇ
風紀委員長として言わなきゃいけないもの
スル
スル
…?
最島くん
風紀乱しちゃだめじゃない
!

やっぱ…
海凪との事
見られて…
峯岸先生と
あんなことしちゃう
なんて
キュンキュンするぅ…♥
やっぱり
おー
うん…ッ
そっから見てたの！
暇人かよ！

いや…まて
先生とやるほうが
圧倒的にマズいんじゃ
ないのか…？
コイツはこれでも
生徒会長だからな…
権限は教師より上だ…
最悪退学も……
やってないから！
尻だから!!
セーフだから!!
ノーカン!
ノーカン!
…
お尻だからセーフって
思ってるあなたは
本当に馬ｋ…面白いわね
ていうか
前の穴でも
ヤってたわよ

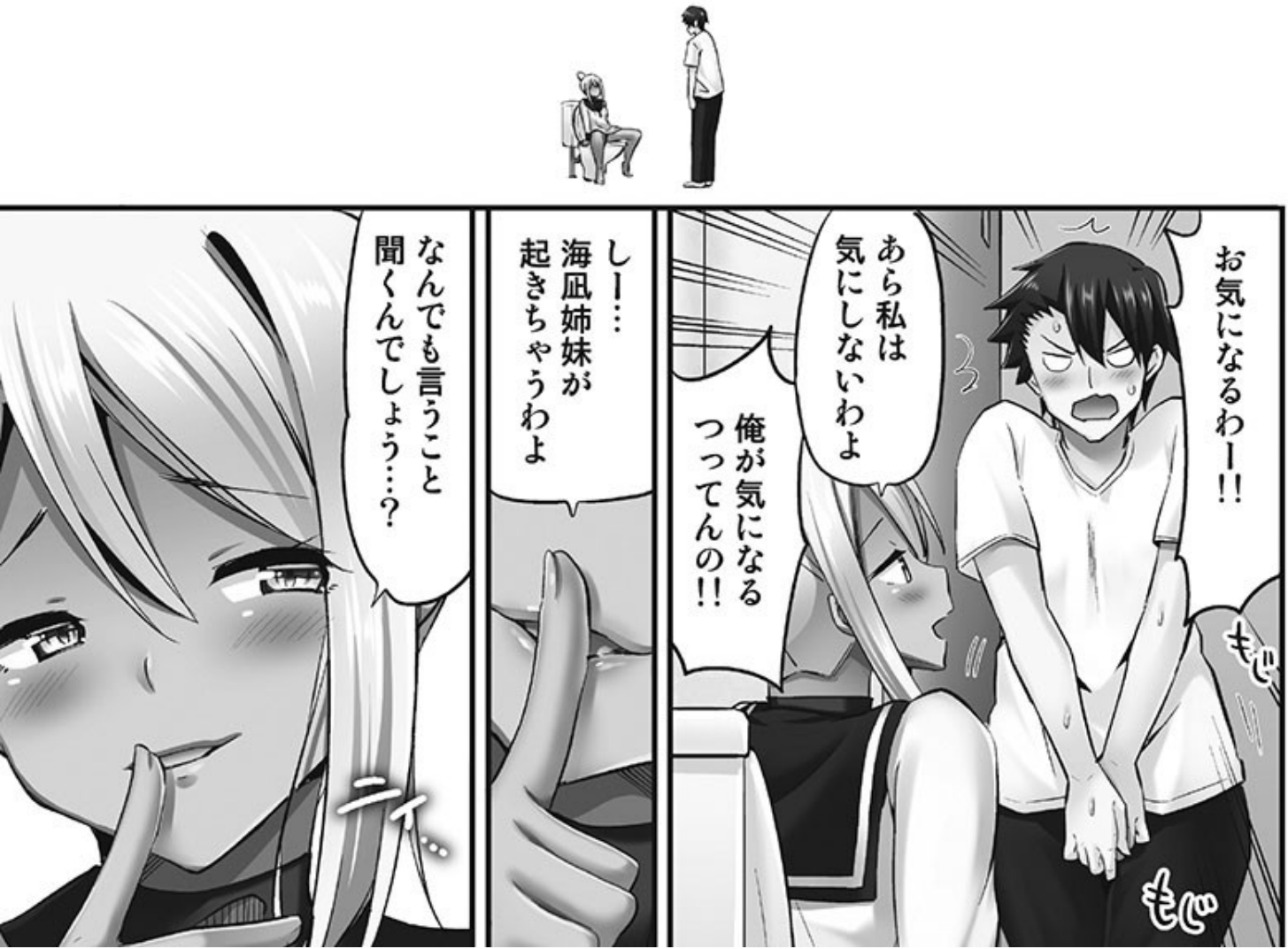
私の権限で
あの教員辞めて
もらおうかしら
!? なんで
のんちゃん先生
を…!?
生徒とヤったん
だもの
それに…

目障りなのよね
勝手に動かれると

は…？
それはどういう…
…そうしたら
あなた他人事じゃ
ないわよ
ヤケになって
言いふらされたら
最島くんも
芋づる式だもの
結局退学!?

どうか
のんちゃん先生は
辞めさせないで下さい！
何でもしますから！
「何でも」？
こいつには
言っちゃいけなかった
単語かもしれん
……一個だけ…

ふーん
まぁいいかなー
…あともう一つ
お願いが
おしっこ
漏れそうなので
出てくれませんか
どうぞ
お気になさらずに♥
カ、
ぱ


お気になるわー!!
あら私は
気にしないわよ
俺が気になる
つってんの!!
もじ
もじ
しー…
海凪姉妹が
起きちゃうわよ
なんでも言うこと
聞くんでしょう…?
ニィ…

じょぼぼぼ
正面から男性が用をたすのは…
流石に初めて見るわねぇ
正直…これで寧羽会長の破天荒な要求を回避できるなら安いもんだ
ほぼぼぼぼぼぼぼ
ゆぁー…
終わった
！
お…おい…
ふきふき
女子の癖みたいなもんよ
これは…変な感覚だ…
!?
ちょ…ッ…なにを…!?
女子の癖みたいなもんよ
くふ♥
しこしこ
しこしこ
ムニィ

そ…そんなわけねーだろ…!!
後輩とのあんなラブラブエッチ見せられてムラムラしちゃったんだから仕方ないじゃない
やっぱ海凪とのも見られてた…
ニュッ
ニュッ
それに最島くんこんな硬く…♥
やめてほしくなさそう…
んふ…♥
あ…ッ
ぢゅっ
それは…ッ

スルッ
!!
ちょ…ッ！
そこは…
ろう…？
きもひ？
なんだこれ…ッ
尻…ッ
こんな…
はじめての
感覚…ッ
ん
んッ

あ…ッ
すっごい
気持ちよさそうな
顔してる…♥
寧羽会長…ッ
それ…ッ
ビクッ
ビクッ
スチュ
スチュ
ゾクゾク
ちゅぱ…
う…ぁ…
でも…
私も…
こんなに
なってるのに…
一人で
気持ちよくなるなんて
ずるいわぁ
スルッ
ぬち…
ーッ!!

いや…それは…
なんでも言うこと聞くんでしょ？
つれないわねぇ
でもさっき…！
いっ
最後までやるのがワンセンテンス…♥
そ…ッ
最島くんも…触って…
私の大事なトコロ♥
ん…ッ
チュッ
ヌチュ
チュッ
ぬる
ぬる
はぷ…ッ
ぷ
ぷ
ぴく
ぴく
は
は…あッ
ぷるん
ぷるん
ぷるん
ぷるん
ぷるん
ぷるん

もっと…奥…ッ
激しく…ッ
ここなら…
汚れないから…
はっ♡
ふー
ふー
ふー
んっ♡
んっ♡
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴちゃ
ガク
ガク
ガク
寧羽会長…
びちょびちょじゃないですか
はぁ…
はぁ…
はぁ…
だって…♡
はぁ…♡

はーー…
…♥
も…もう
いいでしょう？
そろそろ
みんな起きてくる
頃だし…
だめよ
もう少し
起きないでしょ
わ…ッ
ぎゅっ♥
それに…
硬いまんま
戻る気なの？
にちゃ
…ッ
にちゃ
おさめてからじゃないと…
海凪姉妹の教育上
悪いんじゃないのぉ？
トス…
じ…自分で
抜きますよ…！
みんなの居る
寝室で？
それは…

素直にここでしてけばいいじゃない…♥
！
ほら…少しずつ少しずつ
つぷ…
ぬぷぷ…♪
最島くんのはこんなに挿入りたがってる
んぐ…ッ
やっぱりやめようかしら
ぬぽっ
先端だけしごかれるのはどんな気持ち？
ヌッチ
ヌッチュ
ヌッチ
ヌッチュ
どんなっ…て…
ぐぐぐ
なーんてね♥
あ…
ぬぷぷっ
うッ

奥に…
挿入れたい…です…
わかってるじゃない
んふ♥口の聞き方
うぁ…膣内ッ…あついッ…
は…あッ
はっ♥
深…ッ♥
はっ…
おっぱい触って
ん…ッ

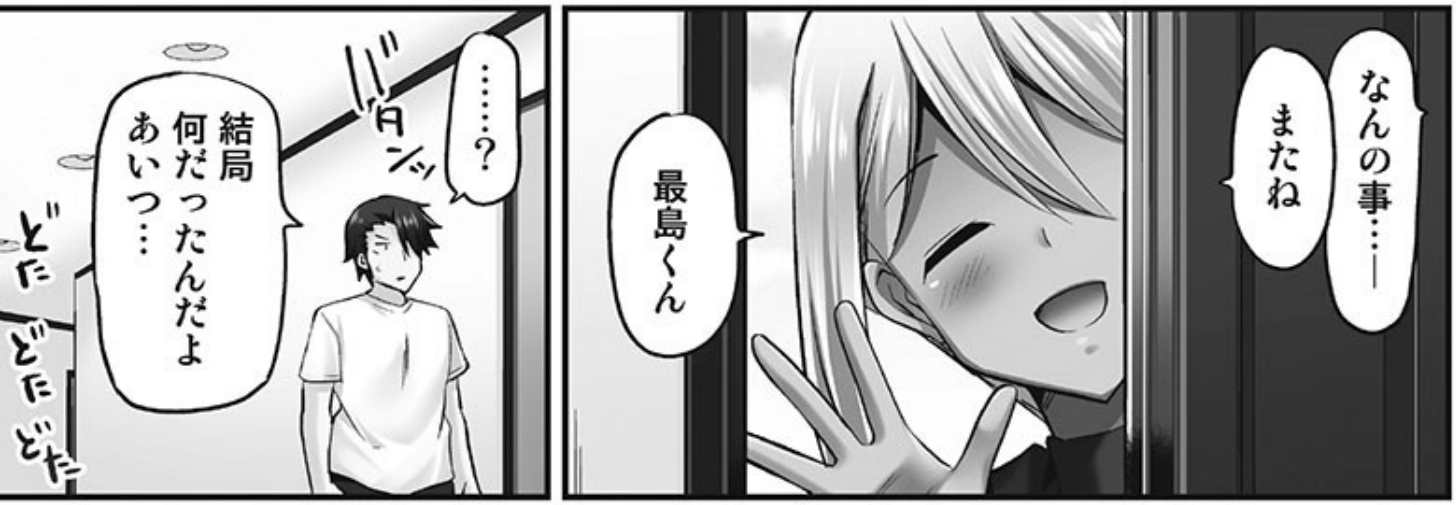
だめよ
まだイッちゃ
満足
してないんだから
あ…ッ

あ…ッ
すごい…♥
どんどん
大きくなってる…
あ…ッ
寧羽会長…
俺…
もう…ッ
だめだってば
私…もう少し
楽しみたいし♥
わかりました…
ひゃんッ?!
…?
妙に素直…
キャンキャン♥

あ
えッ
や…はげし…♥
奥ッ…♥
気持ち良い…ッ♥
そこ
やぁ♥
はぁん♥
あ…も…イきそ…♥
良いですよ…ッイッてください…！
俺ももう我慢できない…ッ
そうね…そろそろみんな起きちゃうものね

あっ♥
びくっ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
あっ あっ♥
ビュッ
ビュッ
ビュッ

夜も明けた
そりゃ明けますよ…あんだけ…——
止めることができなくて残念ね…♠
…はぁ？


なんの事…——またね
最島くん
……？
ガンッ
結局何だったんだよあいつ…
どたどたどた

サイジマいた！
サイジマー！
どたどた
これ！サイジマの
ﾊｲ！
お！サンキュー…
ん？

7:32
天王寺 亜子
不在着信
天王寺 亜子
不在着信
天王寺から…―？

あいつから着信なんて…
めず…初めてだな…
天王寺 亜子
不在着信
5:31
天王寺 亜子
不在着信
5:45
なんでよりによってそんな朝早く…

今日あんた暇でしょ？暇よね？
亜子様見送りは結構とか言ってたし買い物付き合ってよ
買い物は付き合うが…天王寺どっかいくのか…？
あ…ッごめんごめんなんでもない
まだ亜子様の留学が信じられないのも無理はない…か

ちょっとこの子達の見てくるから待ってて！
おーう
SALE
…下着コーナーで男一人ってのもやや気まずいんだが…
お客様！こちらのブラがお似合いですお客様!!
ダダダダ
えっ!?いやいや…！男です！俺男!!
ぐい
…あのブラとかつける趣味は…
って…
よく見たらおまえ…
TACHIBANA
橘!?
む…
…なに怒ってんだよ

最島くん…
どうして亜子様
行かせちゃったの!!
おニだよ!
あ?
天王寺が
どうしたんだよ
どうして空港まで
見送りにすら
来なかったの!?
何言ってるか
わからねーよ…
だから…!
亜子様…
フランス行く便
ギリギリまで
最島くんの事
待ってたんだよ!?
て…
天王寺が…
フランス
……?

亜子
ちゃん
これは
「貸し」
だからね
ちょっと
強引だったけど
これでしばらく
最島くんは
天王寺財閥の
監視対象から
外される…♥

乗馬女子に騎乗の乗られたい！

煩悶トワイライト編

[YUUKI HB]

JOUBA NO KIJO NO RARETAI!

乗馬女子の騎乗られたい？！

煩悶トワイライト編

［YUUKI HB］

JOUBA NO JOUJI NI NORARETAI!

フランス…
って…
旅行かなんかか？
この土日で弾丸ツアー？
な…ッ 何言ってるの…！
第6話
留学だから
2日3日じゃ帰ってこないわよ!?
え…？ そんなの…
なにかの冗談だろ…？
！
聞かされて…無い…？
だって…昨日臨時で乗馬部集会があったんじゃ…
雨が振りそうだからなくなったって聞いたが…
寧羽会長に…
寧羽…会長…？寧羽さんは書記長じゃ…

あぁ…そうか
橘は知らんのか
アイツ実は
会長らしいぞ
なんでも
書紀で庶務で会計で広報で
副会長で会長?らしい
本気で…
言っているの…?
信じられない…
俺も
信じられん
あんなんが
巨大学園を
仕切ってるん
だもんな
ん?どした…?
書紀はデコイ…?
納得させるための
虚実混じった情報?
…でも
政界の人間とはいえ
一般人が
橘家の情報網を
掻い潜れる
ものなの…?
寧羽さんは…
普通じゃない…!?

なにブツブツ言ってんだよ
お前も普通じゃねーだろ
いや…ッそうかも知れないけど…！
今朝もよくわからんが止めることができなくて残念ね…♠
とか言ってたぞ

―その時…最島くんは何してたの…？
な…何って…！その…ッ何もしてねーよ!!一緒に居ただけだよ…！
そいやその間天王寺から着信があったんだよな
寧羽会長と居て出れなかったけど
！

妨害したんだ…
亜子様がフランスへ行く情報を何故か最島くんに入らないようにしている…
なぜ…―
え…？ていうか…
そんな急に行くわけないし…どうせお前のことだ悪い冗談だろ…？

大マジよ…！
…そ…ッ
初めて見たかもしれん…

橘の真剣な顔…
……そうか
ヨロ…
なんで…言ってくれなかったんだ…
天王寺も…海凪も…
多分…言わなかったんじゃない
伝わらないようにうまいことコントロールされていたのよ

寧羽さんに…！
…！
あの人は…何がしたいんだ…
ずず…
わからない…でも寧羽さんには十分注意して

…なぁ橘…
俺…
どうしよう……
天王寺に酷い態度を
取ったままだ…
もしかしたら
嫌われたかもしれないって
怖かった…
怖かったけど
偽物の感情に
漬け込みたくなかった
興奮剤が抜けてから
改めて…
話したいこと
伝えたいこと
たくさんあったのに
俺のこの…
天王寺の事を
好きな気持ち…
どうすれば
いいんだよ…！
…一生帰って
来ないわけじゃない…
でも
いつになるかも
わからない…
なら最島くんの
取る選択肢は3つ
一つ
亜子様を諦める
二つ
亜子様を想い続ける
あと…一つは…

フランスへ
会いに行く…！
…!!
お前はいつも無茶
言いやがって…！
でも…
無茶で…
無謀でも…
ただただ
待っているよりは
断然気持ちがいい…
いくか…
フランス…！

最島くんってバカだよね
おま…ッ
人がせっかく決意したのに…！
褒めてんの
亜子様が惚れたのも
そういう所なんだろうなー
はぁ…？あいつは興奮剤で…
おくち
ツィー♥
おっと失言
興奮剤が抜けたと思ったらちゃんと逃げずに話すんだよ？
？当たり前だろ
じゃあさフランス行く前に

エッチしよ♥
なんでッ!?
だって遠くに行っちゃうの寂しいもん〜
いや…そんな気分じゃ…外に海凪も居るし…!
声潜めればばれないよ
肌身離さず持ってるんだ♥
!!
ムニュ
見て見て
最島くんからもらったおもちゃ
おいやめろって…
ズリ

あの時の……
もう……我慢できない……
ここで……して？
ガチャ
ぴくっ
ガチッ
ビクッ
ビチョッ
チョチョッ
入れっぱなし……！
返されても困る……!!
ってリモコンだけ……？
あげてねーよ！
そうなの？じゃあ返すね
ぴと♥
！
う・ご・か・し・て♥

なんでだよ……
つれないなぁ
あ…ッ♥
ビリッ♥
ゾクゾク…
フル
フル
あたってる…♥
ぐっ
あ♥
ん♥
クチ♥
ツリュ♥
はぁ♥
ゴリ
んぅ…
はぁ♥
はー♥
こんな近くで…
そんな喘ぎ…
はー♥
はぁ♥
いい…♥
あっ♥
はー♥

カオッ
ひゃ…ッ!!
さ…ッ
最島くんのえっちぃ…♥
お…お前が動かせって…
はぁ…ッ
ふぅ…ッ
最島くん…ッ
音…
えっちな音…ッ
イイイッ
ビクッ
ビクンッ
ヴィイイッ
ジュヴィイイ
ジュヴィイイ
はーい
プチ

おっぱい…
さわって…♥
ゴク…
あ…あぁ
ぎゅ
最島くん
は…
ぺろ
フランス
行っても
忘れないでね
あ…
橘

んーッ！
え？
お前みたいな特殊なやつ
んッ
んッ
忘れたくても忘れられねーよ
あ…ッ
は…ッ

あッ
ひゃぁ…
いいっ…
あ…んッ
あ…ッ
やぁ…♥
ひうッ♥
ローター
押し付けちゃ…♥

ここ…
すげーことに
なってるじゃん
すま…
すま…
だって…
中にも刺激
欲しいんじゃ
ないのか？
え…？
パク
パク
あ…ッ！
ビク
ビク
今度は…
こっちに…！
！
フル
フル
フル
ビクッ
ビクッ
あッ
ロ…ッ
ローターが…ッ
ヌッチ
ヌッチ
ガク
ガク
やっ♥
あっ
ヌッチ
ヌッチ
出たり…
入ったり
してるぅ…ッ
…ッ！
これ…ッ
だめぇ…
しゃこ
しゃこ

奥まで…
最島くんの…
欲しくなっちゃう…ッ
ちょうだい…♥

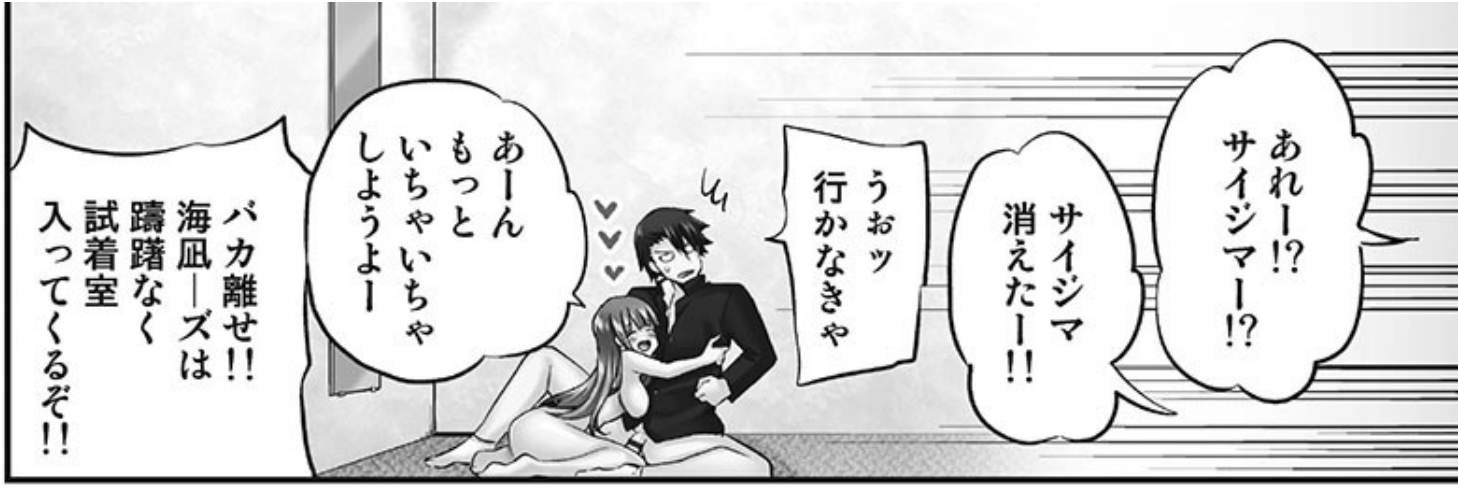
挿入れるぞ
うん…
あ…ッ
挿入って…
きたぁ♥
ヒク
ヒク
ムチュ
ソクソク
最島くんが
気持ちいいように
はぁ〜
はぁ
動いていいからね…♥

見てみろよ
橘
あ
んっ
おっ
すっげー
えろい顔
してるぞ
！
すげ…
橘の愛液
とろとろ出てくる…
だって…
変な事言うから…ッ
あ…ッ

最島くん…ッ
やっ
あっ
でも…
好き…ッ
ん
あ
はぁ
激しい…ッ
激しいの
好き…ッ
嬉しい…ッ♥
あ〜
橘の中
すっげーいいよ…！
あっ♥
はっ♥
ん
あ
は

あ…ッ
いい…♥
最島くんの
奥まで届いてるよぉ…！
ナカがすっげー
きゅんきゅん
してくる…！
出すぞ…！
橘…ッ
あっ♥
ナカッ♥
ドクン…
ドクン…

ちゅっ
んっ
ちゅっ
ぴちゃ
ん～♡
ぺろ…
ぺろぺろ…
ぺろぺろ…
ぺろぺろぺろ
ぺろぺろぺろ…
ぺろぺろぺろ
ぺろぺろぺろ
ぺろぺろぺろ


あれー!?
サイジマー!?
サイジマ
消えたー!!
うおッ
行かなきゃ
あーん
もっと
いちゃいちゃ
しようよー
バカ離せ!!
海凪ーズは
躊躇なく
試着室
入ってくるぞ!!

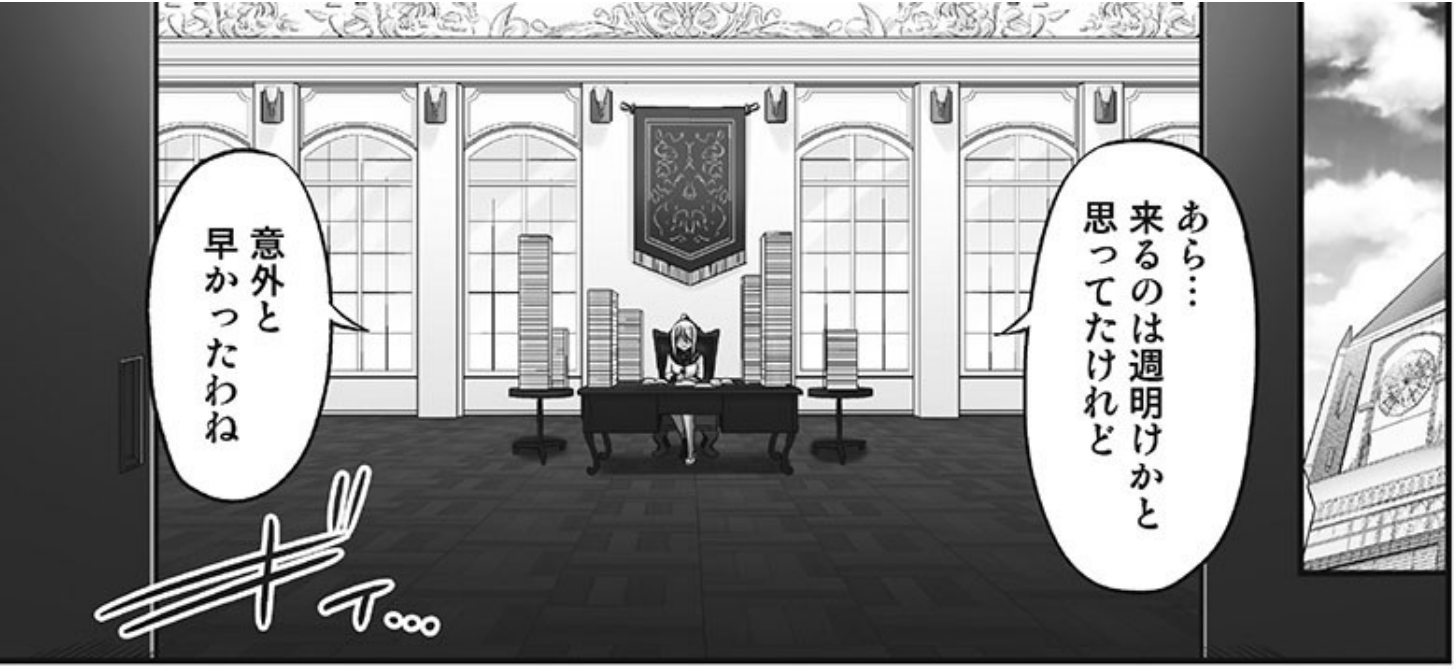
……
この時間なら…
土日返上で
生徒会の仕事を
しているはず…

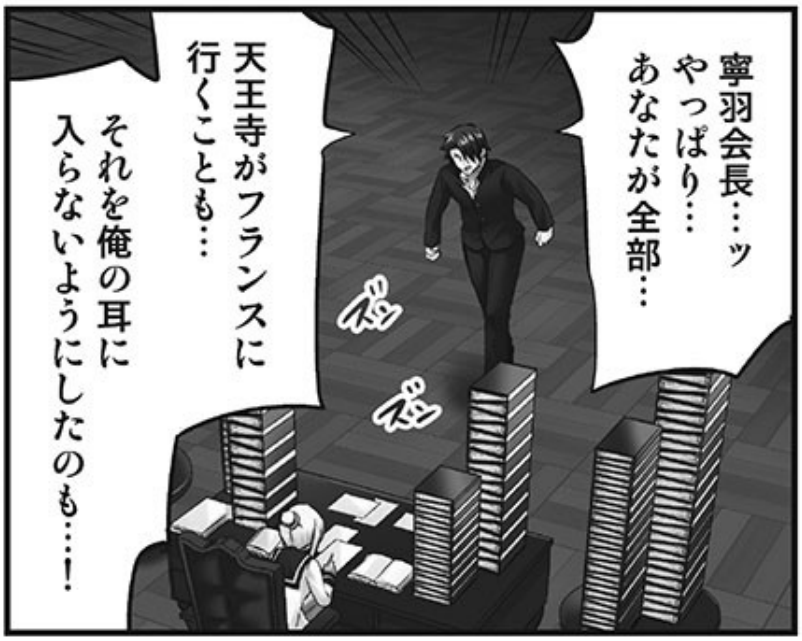
橘…
寧羽会長
何処に居るか
わかるか
カチャ
カチャ

ありがとうな
橘

でも…
私は寧羽さんとは
かかわらないほうが
いいと思う…
あの人
何かある…

でも
俺は馬鹿だから


あら…
来るのは週明けかと
思ってたけれど
意外と
早かったわね


寧羽会長…ッ
やっぱり…
あなたが全部…
天王寺がフランスに
行くことも…
それを俺の耳に
入らないようにしたのも…！

……
何を怒っているのよ
むしろ
感謝してほしい
くらいなのに

感謝ッ!?
出会ったときから
あなたは
ふざけてばかり…!!
今回も面白半分で
こんな事
したんでしょう…!?

俺と天王寺を
離れ離れにして…―
何が
面白いんですか…ッ!!

……
今忙しいのよ
それはまた今度で
いいかしら
ふざけないで
下さいッ!!
俺は……―

……
コト…
…ちょっと考えが
甘すぎるんじゃない?
あなたの
言いたい事も
気持ちも理解できる
でもね

あなた自分の立場
わかってるの?
?
強大な財閥から
娘一人さらっておいて
ムニュ
ただで済むわけ
ないでしょう…?
!?

第6話／END

描き下ろし
びくっ
あんッ
クリ クリ
クチ
クチ
はー
はー
くちゅ
くぷ
はっ
あ
くぷ
くちゅ
はっ
あ…
ふぅ
……
ドクッ
ドクッ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ト
ロ
オ…

なんだか最近…
ふっ
オナニーじゃ消化不良…
もみ もみ
…こっちの穴って…どんな感じなんだろう…
ドキ ドキ
すり すり
クチュ クチュ
くりくり
にち…
ぐちゅ
ぐぷっ
ぐぽっ
ぴた ぴた
は〜〜
あ…結構いいかも…
は〜〜
は〜〜
は〜〜
あ…
クチュ クチュ
ん…
んッ
ヌプ…
クチクチ
あっ♥
トロ…
トロ…
は…あッ♥

んあッ♥
イックウ♥
ビクンッ
ビクンッ
ぐちゅ
ぐぷぅ
ぽぉ
きゅんっ
はぁ…
はぁ…
あへ♥
目覚め
やっぱぁ…♥

あとがき

どうも、ユウキHBです！
今回は乗馬女子に騎乗られたいっ！
第5巻「煩悶トワイライト編」を
ご購入いただき
ありがとうございます！

今回は各々ヒロインの心情や
思惑が交差しと
最島が葛藤沼へと
足を突っ込む巻と
なりました。
象の上で
ヤラカシちゃう
前巻に比べ
シリアスになって
きましたね…

人の心を操れると
知ったとき
好きになればなるほど
それは何か違うんじゃ
と思う最島
真面目ですね。

真面目なのか？
その模様は次巻以降
収録されているので
乞うご期待！

また描き下ろしとして
峯岸先生のアナルへの
目覚めを描かせて頂きました。
楽しかった…
もっと掘り下げていきたい
ジャンルですね！
色んな意味で。

これからも天王寺と最島
各キャラのストーリーに
お付き合い頂けると幸いです。

次巻出ることを願って
それでは！

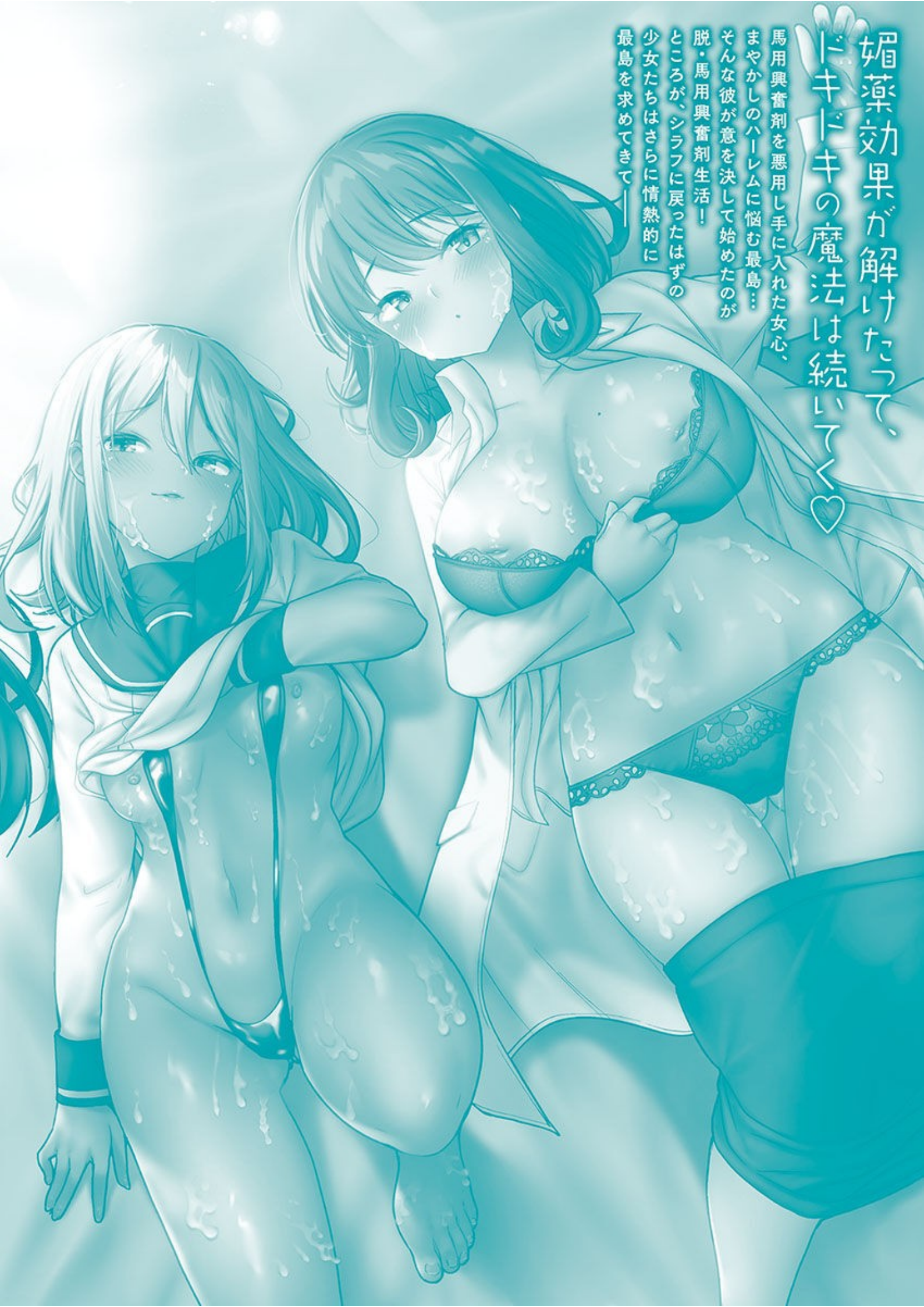
ユウキ

Special Thanks

・ナタでココ　さん
・もーぶん2世　さん
・担当編集M　さん

& you

媚薬効果が解けたって、
ドキドキの魔法は続いてく♡
馬用興奮剤を悪用し手に入れた女心、
まやかしのハーレムに悩む最島…
そんな彼が意を決して始めたのが
脱・馬用興奮剤生活！
ところが、シラフに戻ったはずの
少女たちはさらに情熱的に
最島を求めてきて――


媚薬効果が解けたって、
ドキドキの魔法は続いてく♡
馬用興奮剤を悪用し手に入れた女心、
まやかしのハーレムに悩む最島…
そんな彼が意を決して始めたのが
脱・馬用興奮剤生活！
ところが、シラフに戻ったはずの
少女たちはさらに情熱的に
最島を求めてきて――

ユウキHB
[YUUKI HB]
乗馬女子に騎乗られたい？！
JYOUBAJYOSHINI NORARETAI!
煩悶トワイライト編
成年コミック
owupai

乗馬女子の騎乗られたい？！

煩悶トワイライト編

［YUUKI HB］

JOUBA NO JOUJI NI NORARETAI!

ユウキHBの本

[occupai]

おっぱい募金に
1000万円払った話

乗馬女子に騎乗られたいっ!

乗馬女子に騎乗られたいっ!
ナマ搾り編

乗馬女子に騎乗られたいっ!
発情アパート編

乗馬女子に騎乗られたいっ!
ヤリすぎ遊園地編

乗馬女子に騎乗られたいっ!
煩悶トワイライト編

乗馬女子に騎乗られたいっ！
煩悶トワイライト編
【単行本版】

著者　ユウキHB

発行　スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。